



Oita Prefectural College of Arts and Culture

令和6年度

---

大分県立芸術文化短期大学

---

学生募集要項

---

推薦型選抜・一般選抜

---

令和6年度

---

**大分県立芸術文化短期大学**

---

**学生募集要項**

---

推薦型選抜・一般選抜

---

# 目 次

令和6年度入学者選抜試験の概要	4
本学の教育目的・理念	8
本学の求める学生像	8
各学科の学生の受け入れ方針	8
障がいのある学生の受け入れ方針	12

## 全学科共通

### I 募集方法・募集人員・試験日程

1 募集方法	13
2 募集人員	13
3 試験日程	14

### II 留意事項

1 出願上の留意事項	15
2 障がいのある方の出願	15
3 受験者心得	15
4 入学手続上の留意事項	16
5 追加募集について	16
6 追加合格の手続	16
7 個人成績の開示	16
8 入学前課題について	17

## 美術科・音楽科

### I 推薦型選抜

1 募集人員	18
2 出願資格及び推薦要件	18
3 推薦者数	19
4 試験期日及び試験場	19
5 出願手続	20
6 出願にあたっての留意事項	22
7 推薦型選抜願書作成上の留意事項	23
8 試験内容等	24
9 選抜方法	30
10 合格者発表	30
11 入学手続	30

### II 一般選抜

1 募集人員	32
2 出願資格	32
3 試験期日及び試験場	33
4 出願手続	33

5	出願にあたっての留意事項	35
6	一般選抜願書作成上の留意事項	36
7	試験内容等	37
8	選抜方法	43
9	合格者発表	44
10	入学手続	44

## 国際総合学科・情報コミュニケーション学科

### I 推薦型選抜

1	募集人員	46
2	出願資格及び推薦要件	46
3	推薦者数	47
4	試験期日及び試験場	47
5	出願手続	47
6	出願にあたっての留意事項	49
7	推薦型選抜願書作成上の留意事項	49
8	試験内容等	50
9	選抜方法	50
10	合格者発表	50
11	入学手続	50

### II 一般選抜

1	募集人員	52
2	出願資格	52
3	試験期日及び試験場	53
4	出願手続	54
5	出願にあたっての留意事項	55
6	一般選抜願書作成上の留意事項	56
7	試験内容等	56
8	選抜方法	57
9	合格者発表	57
10	入学手続	58

## 学費その他

◎	学費その他の納付金（令和6年度見込）	60
◎	高等教育の修学支援新制度	61
◎	貸与奨学金	61
◎	授業料の減免等	61
◎	長期履修制度	61
◎	各種教育ローン	61

《推薦型選抜》

令和6年度

入 学 者 選 抜

試験区分	学 科	募集人員	専攻・コース	○本学独自試験科目
学校推薦型選抜 (一般) 【注1】	美 術 科	12人程度	美 術 専 攻	○実技試験 ○作品審査 ○面接 ※調査書
		30人程度	デ ザ イ ン 専 攻	
	音 楽 科	39人程度 (自己推薦型 選抜 3人 程度含む)	声 楽 コ ー ス ピ ア ノ コ ー ス 管 弦 打 コ ー ス 音 楽 総 合 コ ー ス	○実技試験 ○音楽基礎科目 ○面接 ※調査書
	国 際 総 合 学 科	35人程度		○小論文 (800字以内) ○面接 ※調査書
	情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	40人程度		○小論文 (800字以内) ○面接 ※調査書
学校推薦型選抜 (特別) 【注2】	国 際 総 合 学 科	15人程度		○小論文 (800字以内) ○面接 ※調査書
	情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	10人程度		○小論文 (800字以内) ○面接 ※調査書

入 学 定 員	美 術 科	美術専攻	25人	【備考】①詳しくは、学生募集要項の記載頁（全学科共通13ページ～、美術科・音楽科18ページ～、国際総合学科・情報コミュニケーション学科46ページ～）を参照してください。 ②本表の入学試験のほかに、社会人選抜があります。募集人員は若干名です。詳しくは社会人選抜の募集要項を請求してください。
		デザイン専攻	50人	
	音 楽 科	65人		
	国 際 総 合 学 科	100人		
	情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科		100人	

※本募集要項中の試験区分は下記のとおり表記しています。

学校推薦型選抜（一般）…一般推薦

学校推薦型選抜（特別）…特別推薦

自己推薦型選抜 …自己推薦

# 試験の概要

	試験配点	出願期間	試験期日・会場	合格発表日時	入学手続期間
	100 100 重視 重視	<b>【注3】</b> 令和5年11月1日(水) } 令和5年11月9日(木)	令和5年11月19日(日) 本 学	令和5年12月1日(金) 14時(予定)	<b>【注4】</b> 令和5年12月4日(月) } 令和5年12月28日(木)
	400 100 重視 重視				
	60 40 重視				
	60 40 重視				
	60 40 重視				
	60 40 重視				

【注1】 推薦型選抜では、各学科（専攻、コース）及び推薦区分の間での併願はできません。

【注2】 出願期間内に出願登録及び願書等の送付が必要となります。

【注3】 出願期間内に入学金及びその他の納付金の支払いが必要となります。

《一般選抜》

令和6年度

入 学 者 選 抜

試験区分	学 科	募集人数	専攻・コース	○本学独自試験科目 ●大学入学共通テスト科目			
A 日 程 【注1】	本 学 独 自 試 験	美 術 科	11人程度	美 術 専 攻	○英語（ただし、リスニングは行いません） ○国語（古文・漢文を除きます） ○実技試験 ※調査書		
			17人程度	デ ザ イ ン 専 攻	○英語（ただし、リスニングは行いません） ○国語（古文・漢文を除きます） ○実技試験 ※調査書		
	【注1】	音 楽 科 【注3】	26人程度	声 楽 コ ー ス ピ ア ノ コ ー ス 管 弦 打 コ ー ス 音 楽 総 合 コ ー ス	○英語（ただし、リスニングは行いません） ●英語（リスニングを除きます） ○国語（古文・漢文を除きます） ●国語（古文・漢文を除きます） ○音楽基礎科目 ○実技試験 ※調査書		
					国際総合学科	30人程度 【注5】	○英語（ただし、リスニングは行いません） ○国語（古文・漢文を除きます） ※調査書
					情報コミュニケーション学科	30人程度	○英語（ただし、リスニングは行いません） ○国語（古文・漢文を除きます） ※調査書
	テ ス ト 利 用 【注4】	大 学 入 学 共 通	国際総合学科	15人程度	●英語 ●英語を除く全教科・全科目から1科目 ※調査書		
			情報コミュニケーション学科	15人程度	●国語 ●国語を除く全教科・全科目から1科目 ※調査書		
B 日 程 【注2】	本 学 独 自 試 験	美 術 科	2人程度	美 術 専 攻	○実技試験		
			3人程度	デ ザ イ ン 専 攻	○小論文（800字以内） ※調査書		
	【注2】	テ ス ト 利 用 【注4】	大 学 入 学 共 通	国際総合学科	若干名 【注5】	○志望理由書 ○小論文（600字程度） ○面接 ※調査書	
				国際総合学科	5人程度	●全教科・全科目から2科目 ※調査書	
			情報コミュニケーション学科	5人程度	●全教科・全科目から2科目 ※調査書		

独自試験と大学入学共通テストのどちらかを出願時に選択【注3】

【注1】 各日程内における併願については14ページをご覧ください。なお、試験期日が同一でない限り、他の国公立大学、公立短期大学との

【注2】 併願は可能です。

【注3】 一般選抜（A日程）において音楽科を受験する場合、英語及び国語について本学独自の試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択します。この場合、大学入学共通テストの英語は、リスニングは課さず、リーディング（100点満点）の成績のみを使用します。大学入学共通テストの国語は、古文・漢文の分野を除いた部分の得点を100点満点に換算します。

【注4】 大学入学共通テスト利用の全教科・全科目はすべて100点満点に換算します。「理科」について、基礎を付した科目の場合は、2科目受験をもって1科目とみなします。英語（リスニング）、国語（古文・漢文）も成績利用の対象です。

# 試験の概要

	試験配点	出願期間	試験期日・会場	合格発表日時	入学手続期間
	100 100 400 参考	【注6】 令和6年1月9日(火) } 令和6年1月26日(金)	令和6年2月8日(木) } 令和6年2月9日(金) 本 学	令和6年2月20日(火) 14時(予定)	【注7】 令和6年2月21日(水) } 令和6年3月1日(金)
	100 100 200 参考		令和6年2月8日(木) } 令和6年2月9日(金) 本 学 <small>※英語と国語については、大学入学共通テスト利用を選択した場合は、大学入試センターによる試験実施期日・会場のとおり</small>		
	100		令和6年2月8日(木) } 令和6年2月9日(金) 本 学		
	100 100 400 参考		令和6年2月8日(木) } 令和6年2月9日(金) 本 学		
	100 100 参考		令和6年2月8日(木) } 令和6年2月9日(金) 本 学		
	100 100 参考		令和6年2月8日(木) } 令和6年2月9日(金) 本 学		
	100 100 参考		令和6年2月8日(木) } 令和6年2月9日(金) 本 学		
	100 100 参考		令和6年2月8日(木) } 令和6年2月9日(金) 本 学		
	200 200 参考	【注6】 令和6年2月26日(月) } 令和6年3月8日(金)	令和6年3月14日(木) 本 学	令和6年3月18日(月) 14時(予定)	【注7】 令和6年3月19日(火) } 令和6年3月25日(月)
	20 40 40 参考		令和6年3月14日(木) 本 学		
	100+100 参考		大学入試センター による試験実施期 日・会場のとおり		
	100+100 参考		大学入試センター による試験実施期 日・会場のとおり		

【注5】国際総合学科のB日程での本学独自試験の募集人員（若干名）は、A日程での本学独自試験の募集人員に含まれます。

【注6】出願期間内にし願登録及び願書等の送付が必要となります。

【注7】入学手続期間内にし入学料及びその他の納付金の支払いが必要となります。

【注8】推薦型選抜及び一般選抜の結果、入学手続完了者が募集人員に満たない場合（満たなくなると見込まれる場合を含む）には、追加募集を行うことがあります。詳しくは、16ページの5を参照のこと。



## 本学の教育目的・理念

### 本学の教育目的

本学は、芸術及び文化に関する専門の学芸の教授研究を通じて、幅広い教養及び優れた技能を有する人間性豊かな人材を育成し、もって芸術の創造、文化の進展及び地域社会の発展に寄与することを目的とする。

### 本学の教育理念

- 1) 本学は、県内唯一の公立短期大学として、県民の要望と期待に応える高等教育を推進する。
- 2) 本学は、学生の個性を尊重するとともに、知性と感性の調和した人間性を涵養する教育を推進する。
- 3) 本学は、芸術・文化の専門教育を重視するとともに、幅広い見識と総合的な判断力を備えた教養人を育成する。
- 4) 本学は、九州・中国・四国地区を含めた文化圏の中心に位置することから、その圏内における芸術・文化の教育を担う。
- 5) 本学は、開かれた大学として県民の生涯学習・リカレント教育を担う。

## 本学の求める学生像

- ① 友達やあなたの周囲の人と積極的に交わり、自分の個性を磨きたい人
- ② 芸術・文化に興味を持ち、知性と感性を伸ばしていきたいと願う人
- ③ 基礎学力をベースに旺盛な学修意欲を持ってチャレンジしたいと思う人
- ④ 社会に関心を持ち、積極的に貢献したいと考えている人

## 各学科の学生の受け入れ方針

### 1 美術科

#### (1) 求める学生像

- ① 美術専攻
  - ・美術に関心があり、夢を持っている人
  - ・油彩画・日本画・彫刻・ミクストメディアなどの創作・表現に意欲のある人
  - ・美術の歴史・理論に興味のある人
  - ・美術教育に関心があり、教員をめざしている人
- ② デザイン専攻
  - ・広告やパッケージデザインなど、企画や情報を視覚的に表現することに意欲のある人
  - ・コンピュータグラフィックスを利用したキャラクター・アニメーションに取り組む意欲のある人
  - ・生活を楽しくする〈モノや空間〉のデザインが大好きな人
  - ・新しいメディア表現やアート分野にも積極的に挑戦できる人
  - ・美術教育に関心があり、教員をめざしている人

#### (2) 入学者選抜の方針

- ① 推薦型選抜
  - ・実技試験として美術専攻、デザイン専攻ともデッサンの描写の試験を課して、与えられたモチーフをいかに正確にとらえて質感や空間感などを豊かに表現するかを評価する。
  - ・持ち込み作品によって受験者の自由な感性を評価する。
  - ・面接では、学修に対する態度・意欲を評価する。
- ② 一般選抜（A日程・本学独自試験）
  - ・本学独自の学力試験（英語・国語）を課し、高等学校で学習した範囲の基礎的な学力を評価する。
  - ・実技試験として、美術専攻は水彩画または油彩画を課して、モチーフのとらえ方と、形と色による表現力を評価する。デザイン専攻では、構成デッサンを課して形や質感を正確に観て表現する能力を評価するとともに、自由に画面を想像して構成する能力を評価する。

③ 一般選抜（B日程・本学独自試験）

- ・小論文を課し、物事を理解・判断する力と日本語による表現力を評価する。
- ・実技試験では、美術専攻、デザイン専攻ともデッサンの描写の試験を行い、ものの形や空間のとらえ方や表現力について評価する。

(3) 入学するまでに学んできてほしいこと

高等学校等において、次のようなことを身につけていることが望まれる。

美術：対象をきちんと捉え、それを正確に描写できるデッサン力

国語：基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力

英語：英語を読む、書く、聞く、話すことに関する基礎的な能力

選抜方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体性・協働等
推薦型選抜	実技試験	○	○	
	作品審査	○	○	
	面接		○	○
	調査書	○		○
A日程 一般選抜	国語・英語	○	○	
	実技試験	○	○	
	調査書	○		○
B日程 一般選抜	実技試験	○	○	
	小論文	○	○	
	調査書	○		○

## 2 音楽科

(1) 求める学生像

- 各コース共通
  - ・音楽科の教育内容をよく理解し、音楽芸術に深い関心を持ち、学修意欲を強く持った人
  - ・音楽を通して自己表現をしたいと考えている人
  - ・音楽の素晴らしさを他者に伝えたい、教えたいと考えている人
- 声楽コース
  - ・歌を通して、内在する情熱、感情を表現したい人
- ピアノコース
  - ・ピアノを専門的に学び、創造力豊かな音楽表現をめざしている人
- 管弦打コース
  - ・独奏だけでなく、アンサンブルにも対応できる協調性のある人
- 音楽総合コース
  - ・音楽についての技能（演奏・指揮・作曲・理論）と楽曲分析をあわせて学び、総合的に音楽を理解したい人

(2) 入学者選抜の方針

- ① 推薦型選抜
  - ・実技試験では、受験生の希望分野に対する実力を評価するための専修実技試験と、基礎力を試す試験を課する。
  - ・面接では、学習に対する態度・意欲を評価する。
  - ・広く学生を受け入れるために、一般推薦と自己推薦を設ける。
- ② 一般選抜（A日程）
  - ・本学独自試験（英語・国語）を受験するか、または大学入学共通テスト（英語・国語）の成績を利用するかを出願時に選択し、高等学校で学習した範囲の基礎的な学力を評価する。

・音楽基礎科目と実技試験を課し、基礎力を試すとともに、希望分野に対する実力を評価する。

(3) 入学するまでに学んでほしいこと

高等学校等において、次のようなことを身につけていることが望まれる。

音楽：基礎的な読譜能力や楽典に関する知識、コースごとの専門教育に必要な技術と知識

国語：基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力

英語：英語を読む、書く、聞く、話すことに関する基礎的な能力

選抜方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体性・協働等
推薦型選抜	実技試験	○	○	
	音楽基礎科目	○	○	
	面接		○	○
	調査書	○		○
A日程 一般選抜	英語・国語	○	○	
	音楽基礎科目	○	○	
	実技試験	○	○	
	調査書	○		○

3 国際総合学科

(1) 求める学生像

- ・日本や世界の文化と社会に興味・関心のある人
- ・国際交流やボランティア活動に関心があり、実際に参加したい人
- ・日本語や外国語によるコミュニケーション能力を高めたい人
- ・観光（旅行、運輸、ホテルなど）に関心があり、将来は観光関連の仕事をしたい人
- ・ビジネスに関する知識やスキルを身につけ、即戦力として社会で活躍したい人

(2) 入学者選抜の方針

① 推薦型選抜

- ・小論文を課し、物事を理解・判断する力と日本語による表現力を評価する。
- ・面接では、表現力と学習に対する態度・意欲を評価する。
- ・高等学校の推薦書等から、高等学校での学習成果と活動状況を判断する。
- ・広く学生を受け入れるため、一般推薦と特別推薦を設ける。

② 一般選抜

本学独自試験または大学入学共通テスト利用のどちらかを選んでの受験が可能であり、また両方に出願することもできる。

ア A日程・本学独自試験

- ・本学独自の学力試験（英語・国語）を課し、高等学校で学習した範囲の基礎的な学力を評価する。

イ A日程・大学入学共通テスト利用

- ・大学入学共通テストの英語と、その他の全教科・全科目から1科目の計2科目を課し、高等学校で学習した範囲の基礎的な学力を評価する。

ウ B日程・本学独自試験

- ・志望理由書作成を課し、学修に対する意欲を評価する。
- ・小論文では、物事を理解・判断する力と日本語による表現力を評価する。
- ・面接では、表現力と学習に対する態度・意欲を評価する。

エ B日程・大学入学共通テスト利用

- ・大学入学共通テストの全教科・全科目から2科目を課し、高等学校で学習した範囲の基礎的な学力を評価する。

(3) 入学するまでに学んできてほしいこと

高等学校等において、次のようなことを身につけていることが望まれる。

国語：国語を的確に理解し、効果的に伝え合うための思考力や表現力

英語：英語を理解し、表現するための基礎的能力、およびコミュニケーション能力

地理歴史：日本や外国の地理・歴史・文化に関する基礎的知識

公民：現代日本の抱える課題や政治・経済に関する基礎的知識

選抜方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体性・協働等	
推薦型 選抜	小論文	○	○		
	面接		○	○	
	調査書	○		○	
A日程 一般選抜	独自	英語・国語	○	○	
		調査書	○	○	
	共通	共通テスト	○	○	
		調査書	○		○
B日程 一般選抜	独自	志望理由書		○	
		小論文	○	○	
		面接		○	○
		調査書	○		○
	共通	共通テスト	○	○	
		調査書	○		○

#### 4 情報コミュニケーション学科

(1) 求める学生像

- ・人間関係を大切にし、他者やグループと積極的に関わりたい人
- ・ボランティアや地域活動に関心があり、実際に参加したい人
- ・コンピュータやメディアを使って、積極的に情報発信したい人
- ・社会人に求められる主体性・協調性・論理性を身につけたい人

(2) 入学者選抜の方針

① 推薦型選抜

- ・小論文を課し、物事を理解・判断する力と日本語による表現力を評価する。
- ・面接では、表現力と学習に対する態度・意欲を評価する。
- ・高等学校の推薦書等から、高等学校での学習成果と活動状況を判断する。
- ・広く学生を受け入れるため、一般推薦と特別推薦を設ける。

② 一般選抜

本学独自試験または大学入学共通テスト利用のどちらかを選んでの受験が可能であり、また両方に出願することもできる。(A日程のみ)

ア A日程・本学独自試験

- ・本学独自の学力試験(英語・国語)を課し、高等学校で学習した範囲の基礎的な学力を評価する。

イ A日程・大学入学共通テスト利用

- ・大学入学共通テストの国語と、その他の全教科・全科目から1科目の計2科目を課し、高等学校で学習した範囲の基礎的な学力を評価する。

ウ B日程・大学入学共通テスト利用

- ・大学入学共通テストの全教科・全科目から2科目を課し、高等学校で学習した範囲の基礎的な学力を評価する。

(3) 入学するまでに学んでほしいこと

高等学校等において、次のようなことを身につけていることが望まれる。

国語：国語を的確に理解し、効果的に伝え合うための思考力や表現力

英語：英語を理解し、表現するための基礎的能力、およびコミュニケーション能力

公民：現代日本の抱える課題や政治・経済に関する基礎的知識

情報：情報機器の基本的操作、および情報を収集・編集・発信する基礎的能力

特別活動・課外活動等：地域社会に対する関心、および自主的・協調的な態度

選抜方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体性・協働等	
推薦型 選抜	小論文	○	○		
	面接		○	○	
	調査書	○		○	
A日程 一般選抜	独自	英語・国語	○	○	
		調査書	○		○
	共通	共通テスト	○	○	
		調査書	○		○
B日程 一般選抜	共通	共通テスト	○	○	
		調査書	○		○

## 障がいのある学生の受け入れ方針

本学は、障がいのある方が入学を希望される場合は、本人またはその家族等と十分な事前相談を行います。

そして、本人を可能な限り学生として受け入れるという基本方針の下、受験、学習及び生活環境の整備に努めます。

# 全学科共通

## I 募集方法・募集人員・試験日程

### 1 募集方法

- (1) 美術科は、専攻ごとに、推薦型選抜、一般選抜（A日程）、一般選抜（B日程）に分けて募集し、合格者を決定します。
- (2) 音楽科は、コースごとに、推薦型選抜、一般選抜（A日程）に分けて募集し、合格者を決定します。（一般選抜（B日程）での募集は行いません。）
- (3) 国際総合学科と情報コミュニケーション学科は、推薦型選抜、一般選抜（A日程）、一般選抜（B日程）に分けて募集し、合格者を決定します。

推薦型選抜は、一般推薦、特別推薦に分けて募集します。

一般選抜（A日程）は、本学独自試験と大学入学共通テスト利用との2通りの方法をとっており、両方を志願することもできます。

一般選抜（B日程）は、国際総合学科は本学独自試験と大学入学共通テスト利用の2通りの方法をとっており、両方を志願することもできます。情報コミュニケーション学科は大学入試共通テスト利用のみで行います。

### 2 募集人員

学 科		募集人員 (人)	選 抜 試 験 別 募 集 人 員					
			推 薦 型 選 抜		一 般 選 抜			
			一般推薦 (人・程度)	特別推薦 (人・程度)	A日程		B日程	
本学独自 試験 (人・程度)	大学入学 共通テスト 利用 (人・程度)	本学独自 試験 (人・程度)			大学入学 共通テスト 利用 (人・程度)			
美術科	美術専攻	25	12	—	11	—	2	—
	デザイン専攻	50	30	—	17	—	3	—
音楽科		65	注1 39	—	注2 26		—	—
国際総合学科		100	35	15	30	15	注3 若干名	5
情報コミュニケーション学科		100	40	10	30	15	—	5
合 計		340	154	25	116	30	5	10

注1 自己推薦3人程度含む。

注2 音楽科の一般選抜（A日程）は、学力試験（英語・国語）について、出願時に、本学独自試験または大学入学共通テスト利用のどちらかを選択。

注3 国際総合学科の一般選抜（B日程）での本学独自試験の募集人員「若干名」については、一般選抜（A日程）での本学独自試験の募集人員に含まれます。

### 3 試験日程

学 科		試 験 日 程					
		推薦型選抜		一 般 選 抜			
		一般推薦	特別推薦	A 日程		B 日程	
				本 独 自 試 験	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 利 用	本 独 自 試 験	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 利 用
美術科	美術専攻	11月19日(日)	-	2月8日(木)	-	3月14日(木)	-
	デザイン専攻			2月9日(金)			
音楽科		11月19日(日)	-	2月8日(木) 2月9日(金) ★	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 実 施 期 日 の と お り ★	-	-
国際総合学科		11月19日(日)	-	2月8日(木)	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 実 施 期 日 の と お り	3月14日(木)	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 実 施 期 日 の と お り
情報コミュニケーション学科		11月19日(日)	-	2月8日(木)	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 実 施 期 日 の と お り	-	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 実 施 期 日 の と お り

★ 出願時に、学力試験（英語・国語）について、大学入学共通テスト利用を選択した場合の試験日程は、大学入学共通テスト実施期日のとおり。ただし、音楽基礎科目及び実技試験は、本学独自試験の期日で実施します。

#### 一般選抜における本学独自試験と大学入学共通テスト利用との併願について

学 科		美術科	音楽科		国際総合学科		情報コミュニケーション学科	
		独 自	独 自	共通テスト	独 自	共通テスト	独 自 (A日程のみ)	共通テスト
美術科	独 自		×	×	×	○	×	○
	共通テスト	×	×	×	×	○	×	○
音楽科	独 自	×	×	×	×	○	×	○
	共通テスト	○	○	○	○	○	○	○
国際総合学科	独 自	×	×	×	×	○	×	○
	共通テスト	○	○	○	○	○	○	○
情報コミュニケーション学科	独 自 (A日程のみ)	×	×	×	×	○	×	○
	共通テスト	○	○	○	○	○	○	○

(注) 「○」…併願可能 「×」…併願不可

※大学入学共通テストを利用した出願は、2学科（国際総合学科・情報コミュニケーション学科）と本学独自試験（美術科・音楽科・国際総合学科・情報コミュニケーション学科）のうち1学科の最大3学科まで、併願が可能です。

## II 留意事項

### 1 出願上の留意事項

- (1) 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (2) 出願書類等に不備があるものは受け付けません。また、受付完了後は、理由の如何を問わず、入学考査料及び提出書類は返還しません。
- (3) 出願後は、提出書類の記載内容の変更は認めませんので、誤りのないよう記入してください。なお、願書提出後、現住所、電話番号等を変更したときは、ただちに(4)あてに連絡してください。
- (4) 選抜試験に関する照会は、教務学生部（TEL 097-545-4225）にご連絡ください。

### 2 障がいのある方の出願

障がいがあり、受験上特別な配慮を必要とする場合は、出願前の早い時期に教務学生部にご相談ください。相談にあたっては、以下の書類を提出してください。

- (1) 志望学科・専攻、障がいの状況、受験上の配慮を希望する事項等を記載したもの（様式は自由、用紙はA4サイズ）
- (2) 障がいに関する医師の診断書
- (3) 出身学校関係者の添書（学校における生活状況及び学習上や定期試験での配慮状況等を記載したもの）

※修学上、特別な配慮を希望する場合も、早い時期に教務学生部にご相談ください。

### 3 受験者心得

- (1) 受験票は、選抜試験当日必ず持参してください。また、受験票は、諸手続に必要ですので、試験終了後も保管しておいてください。
- (2) 選抜試験当日は、試験開始時刻30分前までに指定の場所に到着して、監督者の指示に従ってください。なお、試験会場では上履き不要です。
- (3) 試験場では、受験票の受験番号と同じ番号の席に着き、受験票を机の上に置いてください。
- (4) 試験中は、受験票と筆記用具等試験に必要なもの以外はカバンにしまってください。なお、腕時計、眼鏡、ハンカチ、マスク、ティッシュペーパーなどは必要に応じて机の上に置くことを認めません。時計は時計機能だけのもの、ティッシュペーパーは袋から中身を取り出したものに限りません。
- (5) 試験場内では、携帯電話やスマートフォン、腕時計型端末などいわゆるウェアラブル端末、ICレコーダー等の電子機器類は、電源が切れていることを確認してカバンにしまってください。
- (6) 試験開始及び終了の時刻は、監督者の合図によります。
- (7) 受験中、質問がある場合、トイレに行きたくなったり気分が悪くなったりした場合などは、挙手のうえ、監督者の指示に従ってください。
- (8) 試験場において、不正行為もしくは監督者の指示に従わない行為があった者は、監督者が退室を命ずることがあります。また、不正行為と認められた場合、当該年度における選抜試験の結果を無効とすることがあります。
- (9) 受験者用の駐車スペースには限りがありますので、公共交通機関等を利用してください。
  - ・やむを得ず自家用車で来場する場合であっても、朝7時15分以前の入構はできません。
  - ・送迎の際、本学周辺での乗降は禁止しています。本学駐車場内にて乗降を行ってください。
  - ・誘導員から自動車の出構を指示された場合は、速やかに応じてください。また、周辺道路や店舗等への違法駐車、迷惑駐車等を発見した場合は厳しく対処します。
  - ・駐車場の空き具合の問い合わせや予約等には応じられません。



- (10) 本学の近隣には飲食店等がありません。午後も試験が実施される場合、各自で昼食を持参してください。
- (11) 試験当日、受験者への物品授受の仲介等はありません。
- (12) 上記の他、監督者から指示があった場合は、その指示に従ってください。

## 4 入学手続上の留意事項

- (1) 入学手続後は、理由の如何を問わず、**入学料及び提出書類は返還しません。**
- (2) 合格者が入学手続期間に入学手続を完了しなかった場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- (3) 入学手続完了者が入学を辞退する場合は、**「入学辞退届」を必ず提出**してください。（入学辞退届の様式や提出方法等は別途お示しします。）

## 5 追加募集について

推薦型選抜及び一般選抜の結果、入学手続完了者が募集人員に満たない場合（満たなくなると見込まれる場合を含む。）には追加募集を行うことがあります。その場合、本学ホームページにて追加募集実施の発表を行います。発表の時期は令和6年3月26日頃を予定しています。

## 6 追加合格の手続

入学手続完了者が募集人員に満たない場合（満たなくなると見込まれる場合を含む。）には、合格者の追加を行うことがあります。この場合の追加合格者の決定は次により行います。

- (1) 通知の方法  
期間：令和6年3月29日(金) 17時から18時の間  
対象：本学の一般選抜を受験した者  
方法：入学願書に記入されている「本人の携帯電話」または「自宅電話」へ、本人に直接連絡します。18時までに連絡が取れない場合は、入学の意志がないものとみなします。
- (2) 合格通知書と入学手続関係書類の送付  
追加合格の連絡を受け、本学に入学しようとする者には、合格通知書、入学手続要項及び入学案内等を郵送します。
- (3) 入学手続  
入学手続期間等については、上記入学手続要項に記載します。

## 7 個人成績の開示

推薦型選抜、一般選抜（A日程・B日程）を受験した場合の成績を本人から請求があった場合に開示します。

- (1) 請求できる者 受験者本人（代理人は不可）
- (2) 開示の内容 試験の科目別及び総合得点、合格者の総合得点の平均点・最低点を開示します。平均点・最低点については、募集単位の合格者数が10人未満の場合は平均点のみ開示し、5人未満の場合は全て非開示とします。  
なお美術科及び音楽科については、不合格者に対してのみ、開示します。
- (3) 開示期間 各試験の合格発表日の翌日から30日間。ただし、大学入学共通テストの成績については、大学入試センターが個人成績の開示を開始した日から30日間。  
※開示時間は、いずれも土曜日、日曜日、祝日を除く9時から16時まで

- (4) 開示方法
- ア) 窓口での申請 直接、本人に口頭で行います。  
受験票をご持参の上、本学事務棟（教務学生部）にお越しください。
  - イ) 郵送での申請 所定の様式に成績を記入の上、返送します。  
手続きは後日、ホームページでお知らせします。

## 8 入学前課題について

合格者に対し、入学前課題を課し、課題の提出を求める場合があります。詳細は「合格通知」に同封します。

# 美術科・音楽科

## I 推薦型選抜

### 1 募集人員

美術科では、次のとおり専攻ごとに募集します。

学科名	専攻名	募集人員
美術科	美術専攻	12人程度
	デザイン専攻	30人程度

音楽科では、次のとおりコースごとに募集します。

学科名	コース名	募集人員
音楽科	声乐コース	(8～14人程度)
	ピアノコース	(8～14人程度)
	管弦打コース	(11～17人程度)
	音楽総合コース	(3～5人程度)
		39人程度

※音楽科各コースの募集人員〔( )内の数〕はおおよその人数(目安)であり、志願者数その他の状況で増減します。

※音楽科の募集人員39人程度には、自己推薦3人程度を含みます。

### 2 出願資格及び推薦要件

#### 美術科

##### 《一般推薦》

出願できる者は、次の(1)、(2)または(3)に該当する者のうち、在学する学校長の推薦書がある者です。合格した場合はかならず入学するものとします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を令和5年度中に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和5年度中に修了見込みの者
- (3) (1)、(2)以外の教育機関を令和5年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学学長が認めた者

#### 音楽科

##### 《一般推薦》

出願できる者は、次の(1)、(2)または(3)に該当する者のうち、在学する学校長の推薦書があり、調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上の者です。合格した場合は必ず入学するものとします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を令和5年度中に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和5年度中に修了見込みの者

- (3) (1)、(2)以外の教育機関を令和5年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学学長が認めた者

### 《自己推薦》

出願できる者は、次の(1)から(8)のいずれかに該当する者のうち、志望コースにおいて強い学習意欲を持ち、(9)の条件を満たす者です。合格した場合は必ず入学するものとします。なお、調査書の全体の学習成績の状況についての条件はありません。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和5年度中に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年中に修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（従前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び令和6年3月31日までに合格見込みの者で、令和6年3月31日までに満18歳に達する者
- (8) 令和6年3月31日までに満18歳に達している者で、本学の個別の入学資格審査<sup>(注)</sup>により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者  
 (注) 本学の個別の入学資格審査実施要項は、本学ホームページに掲載しています。
- (9) 次のア～ウのいずれかの項目に該当する者
  - ア 高等学校において、音楽科もしくは音楽コースに在籍し音楽を専門に学んでいた者、または現在学んでいる者
  - イ 高等学校において、音楽活動に関係のある部、あるいは学外の団体等に所属し、めざましい活動もしくはユニークな音楽の研究を行った者、また行っている者
  - ウ 中学校在籍時から現在までに、声楽、ピアノ、管弦打楽器、指揮、理論、作曲に関するコンクール、オーディション、懸賞論文等に応募し、入選、入賞、またはそれに準ずる評価を得た者

## 3 推薦者数

1校から推薦できる人数に上限はありません。

## 4 試験期日及び試験場

学 科	試 験 期 日	試 験 場
美 術 科	令和5年11月19日(日)	本 学
音 楽 科	令和5年11月19日(日)	本 学

※本学の下見は、次の日時のみ許可します。ただし、建物の中に立ち入ることはできません。  
 令和5年11月18日(土) 13時～17時

## 5 出願手続

### (1) 事前準備

出願手続は、インターネットに接続されたパソコン、タブレット端末等から行います。また、以下の準備が必要です。

#### ① 受信可能なメールアドレス

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。出願登録完了時・入学考査料支払い完了時には、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

(携帯メールアドレスの場合は@contact.grapecity.comおよび@oita-pjc.ac.jpからのメールを受信できるように設定してください)

#### ② PDFファイルを開くためのアプリケーション

Adobe社の「Adobe Acrobat Reader」を推奨します。

#### ③ A4サイズを出力できるカラープリンター

「推薦型選抜願書」「受験票」(カラー印刷すること)など、受験に必要な書類を印刷します。

#### ④ 出願に必要な書類及び顔写真データ

出願手続を始める前に、募集要項をよく読み、必要となる書類、顔写真の画像などを準備してください。

※必要書類の中には発行に時間のかかるものもありますので、早めにご用意ください。

### (2) 出願期間

令和5年11月1日(水)から11月9日(休)まで

※期間内に(3)のSTEP1～5までの手続が必要です。

### (3) 出願手順 ※詳細はWeb出願サイトのマニュアルを参照してください。

#### STEP 1 事前登録

本学ホームページからWeb出願サイトにアクセスし、メールアドレスやパスワードの事前登録を行います。

※Web出願サイト公開後から、事前登録を行っていただけます。

#### STEP 2 写真のアップロード

顔写真データは、デジタルカメラやスマートフォンで撮影したデータも可能です。

#### STEP 3 出願情報の登録

画面の指示に従って出願に必要な情報を入力してください。

①選抜区分 ②試験名 ③志願者情報

#### STEP 4 入学考査料の支払い(入学考査料は出願1件につき、18,000円です)

コンビニエンスストア・Pay-easy(ペイジー)・クレジットカードをご利用いただけます。

※全ての支払方法に対して、事務手数料がかかります。事務手数料はご本人負担となります。

#### STEP 5 出願書類の提出(持参または郵送)

「推薦型選抜願書」や「調査書」など必要書類を本学へ持参または郵送します。

##### 〈持参の場合〉

受付時間：9時から16時まで(土・日・祝日を除く)

受付期限：令和5年11月10日(金)16時まで

##### 〈郵送の場合〉

受付期限：令和5年11月9日(木)までの消印があるもの

※郵送の際は必ず「簡易書留」または「レターパック」のいずれか一方としてください。

提出・送付先：〒870-0833 大分市上野丘東1番11号  
 大分県立芸術文化短期大学 教務学生部  
 TEL：097-545-0542（代表）、097-545-4225（直通）

◎提出する書類

出願書類等		摘 要
1	推薦型選抜 願 書	・ Web 出願サイトに必要事項を入力し、入学考査料支払手続き完了後カラー印刷をしてください。(拡大・縮小せず、A4で印刷)
2	調 査 書	《一般推薦（美術科・音楽科共通）》 ・ 在学する学校長が文部科学省の定めた様式により作成し、厳封したものであること。 《自己推薦（音楽科のみ）》 ・ 在学（出身）学校長が文部科学省の定めた様式により作成し、厳封したものであること。なお、高等学校卒業程度認定試験の合格者等については、当該試験の成績証明書をもって調査書に代えることができます。また、大学卒業生については大学の成績証明書をもって調査書に代えることができます。 ・ また、出身学校の指導要録の保存期間が経過したものや、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、出身学校の卒業証明書等を調査書に代えることができます。
3	宛名ラベル	・ Web 出願サイトから印刷をして、書類を郵送する際に封筒やレターパックに貼り付けて使用してください。
4	推 薦 書	《一般推薦》 ・ 在学する学校長が作成した「推薦書（一般推薦用）」（美術科・音楽科共通。様式は本学ホームページに掲載する。） 《自己推薦（音楽科のみ）》 ・ 自分の音楽に対する考え・目標とともに、自己の音楽歴を詳しく記した様式は「推薦書（自己推薦用）」（出願者本人が作成すること。出願者は必ず提出すること。様式は本学ホームページに掲載する。） [自己推薦項目に対する推薦書等] ・ 所属団体顧問、または学校外活動において個人的に師事した指導者、または関係者の「推薦書」（A4サイズ・様式自由） ・ 自己の実績を証するものとして、コンクール、オーディション等の賞状の写し、あるいは研究論文、作品の写し等
5	音楽科実技 試験課題曲 等届出票	・ 入学考査料支払手続き完了後印刷をし、必要事項を記入してください。(拡大・縮小せず、A4で印刷)
6	伴 奏 譜	・ 音楽科（声楽コース）出願者のみ

STEP 6 受験票の印刷

出願書類受領後、通知メールが届きます。もし、出願後1週間経っても通知メールが届かない場合は教務学生部（TEL：097-545-4225）にご連絡ください。  
 受験票は、Web出願サイトからカラー印刷し、試験当日に必ず持参してください。当日、受験票を忘れた者は、速やかに総合案内所で仮受験票の交付を受けてください。  
 受験票は、成績開示請求等の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

## 6 出願にあたっての留意事項

### (1) 併願について

推薦型選抜では、複数の学科（専攻、コース、分野）、複数の推薦区分の併願はできません。

### (2) 推薦型選抜と一般選抜の受験について

推薦型選抜に不合格となった者で、一般選抜を受験しようとする者は、新たに一般選抜の出願手続きを行ってください。

### (3) 音楽科における「コース」について

#### ① 「コース」の選択について

音楽科は以下のコースに分かれており、コースごとに合格者を決定します。

入学希望コースを推薦型選抜願書に明記してください。（推薦型選抜において選択できるのは1コースのみです。）

学 科	コ ー ス
音 楽 科	声 楽 コ ー ス
	ピ ア ノ コ ー ス
	管 弦 打 コ ー ス
	音 楽 総 合 コ ー ス

#### ② 音楽総合コースでの学びと分野の選択について

音楽総合コースは6つの「分野」（声楽・ピアノ・管弦打・指揮・理論・作曲）から1分野を選択して「楽曲分析」と組み合わせて総合的に音楽を学ぶコースです。音楽総合コースを志願する場合、希望分野を出願時に選択し入学願書に明記してください。

### (4) 音楽科管弦打コース及び音楽総合コースの受験可能楽器について

#### ① 音楽科管弦打コース及び音楽総合コース（管弦打）において受験可能な楽器は、次のとおりとします。

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット（※1）、ファゴット、サクソフォーン（※2）、ホルン、トランペット、トロンボーン（テナー、バス）、ユーフォニアム、チューバ、打楽器（小太鼓、マリンバ）

##### ※1 クラリネット

B♭クラリネットが主であるが、Esクラリネット、Altoクラリネット、Bassクラリネットでも受験可能である。ただし、入学後はB♭クラリネットを中心にレッスンを行う。

##### ※2 サクソフォーン

アルト・サクソフォーンが基本であるが、ソプラノ・サクソフォーン、テナーサクソフォーン、バリトン・サクソフォーンのいずれの楽器でも受験可能である。ただし、入学後はアルト・サクソフォーンを中心にレッスンを行う。

#### ② 音楽科音楽総合コース（理論）の演奏課題において受験可能な楽器は、上記①音楽科管弦打コース及び音楽総合コース（管弦打）の受験可能楽器に声楽・ピアノを加えたものとしします。

### (5) 音楽科実技試験の順番、開始時間の発表について

実技試験の順番は、出願書類の受付順と関係ありません。

実技試験の順番や受付時刻等は、11月17日(金)頃に本学の「掲示板」および「ホームページ」にて発表します。

- (6) 音楽科における自己推薦出願者の事前相談について  
事前相談は、オープンキャンパス等で受け付けます。保護者の同席も可能です。

## 7 推薦型選抜願書作成上の留意事項

- (1) J I S 規格の第一水準・第二水準以外の文字やローマ数字、丸囲み文字は入力できません。氏名や住所に正しい漢字登録ができない場合は、代替の文字を入力し、印刷した「推薦型選抜願書」に該当箇所を赤字で正しい漢字に訂正してください。本学にて修正いたします。
- (2) 音楽科実技試験課題曲等届出票の記入にあたっては、黒インクまたは黒ボールペンを使用し、文字はかい書で、数字は算用数字で記入し、該当語句は○で囲んでください。
- (3) 書き損じた場合は、当該部分を二重線で消すとともに、訂正印を押し、余白に正しい内容を記入してください。修正液や修正テープ等は使用しないでください。



## 8 試験内容等

### 美術科

#### ・美術専攻

受験者は、8時から8時30分までの間に、受験者控室に受験者本人が作品を持参のうえ、集合してください。

#### ・デザイン専攻

受験者は、8時10分に、体育館に受験者本人が作品を持参のうえ、集合してください。

※受験者以外の構内立ち入り不可

※両専攻とも8時以前の作品搬入はできません。

試験種別	試験時間	試験内容等	配点等	配点合計
実技試験	9:00～12:00	<b>美術専攻</b> デッサン ※携行品…木炭、鉛筆、パン、ネリゴムまたは消しゴム等デッサンに必要な用具(選択自由・併用可) (注) 用紙(木炭紙または木炭紙大画用紙)・カルトン・クリップは本学で準備します。 <b>デザイン専攻</b> デッサン ※携行品…鉛筆、消しゴムまたはネリゴム (注) 用紙(四つ切り画用紙)・カルトン・クリップは本学で準備します。	100点	200点
作品審査	—	提出作品の審査	100点	
面接	13:00～	美術専攻 10分程度の個人面接 デザイン専攻 10分程度の集団面接	重視	
調査書	—	—	重視	

#### 作品審査

提出作品	美術専攻	ジャンルを問わず3点
	デザイン専攻	ジャンルを問わず3点 (ただし、彩色された作品を1点以上含めてください)

- ・作品審査の提出作品は、試験当日、受験者本人が持参すること。各作品の大きさは、平面作品は縦・横の和、立体作品は縦・横・奥行の和がそれぞれ240cm以内とします(保護者・関係者の方は構内への立ち入りはできません。やむを得ず自家用車で来場する場合は、駐車場までは保護者等の立ち入りも可)。
- ・持参不能の場合はポートフォリオもしくは写真でも可(この場合、実物の作品の大きさは問わない)。ただし、記録メディアだけの提出は不可。ポートフォリオで提出できる作品点数は、実物を含めた全提出作品3点以内であること。※印刷された冊子などで編集ができないものについては、該当する作品に付箋等の目印をつけること。
- ・映像作品の提出に関しては下記のいずれかの方法とする。
  - ①動画サイトにアップロードし、QRコードを掲載した作品解説用紙を提出する。
  - ②紙媒体のみでの提出は作品解説用紙に主要なシーンを数十コマ抜粋しレイアウトする。
  - ③ノートパソコン、iPad等のデジタルサイネージでの展示は給電が無くとも審査時間中に常時視聴できる状態とすること。
- ・持参作品は自らの責任で面接終了後に持ち帰ってください。
- ・近隣には飲食店等がありませんので、昼食は持参してください。
- ・面接試験の終了時刻は、受験者数、面接の進行状況等によって変動するため未定です。公共交通機関や宿泊所の利用については、十分注意して予約等を行ってください。

# 音 楽 科

受験者は、試験の前日までに本学の「掲示板」もしくは「ホームページ」で自分の実技試験の順番及び受付時刻を確認し、当日、指定された受付時刻までに受付場所（音楽棟入口）にて受付を済ませてください。当日は試験開始予定時刻の1時間前から練習室の利用が可能です。練習室へは受付終了後、係員が誘導します。なお、電話等でのお問い合わせや練習室の事前予約等には応じられません。

試験種別	コース	試験時間	試験内容等 詳細は、下記【実技試験の内容】参照	配点等	配点合計
実技試験	声 楽	13:00～	専修実技（課題曲・自由曲）	400点	500点
			コールユーブンゲン	100点	
	ピ ア ノ	9:30～	専修実技（自由曲・練習曲）	400点	500点
		14:00～*	聴音	100点	
	管 弦 打	9:30～	専修実技（課題曲・自由曲）	400点	500点
			新曲視奏	100点	
	音楽総合	分野・受験者数により変動	演奏課題 or 指揮課題 or 作曲課題	200点	500点
			口頭試問	200点	
新曲視唱			100点		
面 接	全コース	受験者数により変動	《一般推薦》 ・声楽、ピアノ、管弦打は5分程度の個人面接 ・音楽総合は15分間の口頭試問に含まれる 《自己推薦》 ・声楽、ピアノ、管弦打は10分程度の個人面接 ・音楽総合は30分間の口頭試問に含まれる	重視	
調 査 書	全コース	-	-	重視	

※専修実技の進行状況により、開始時間が変動する場合があります。

- ・近隣には飲食店等がありませんので、昼食は持参してください。
- ・面接試験終了時刻は、受験者数、実技試験の進行状況によって変動するため未定です。公共交通機関や宿泊所の利用については、十分注意して予約等を行ってください。

## 【実技試験の内容】

### ■声楽コース

下記の1、2をすべて受験してください。

#### 1 専修実技

- ・全て暗譜で演奏してください。
- ・課題曲、自由曲ともにすべて原語とし、アリアを除き移調可とします。
- ・伴奏者の同伴は不要です。
- ・課題曲・自由曲共に伴奏譜は必ず入学願書に添えて提出してください。（体裁については下記参照。）

#### ①課題曲1曲（暗譜演奏）

下記の6曲の中から1曲を選択し演奏してください。移調可とします。

- ・Caldara 作曲 Sebben crudele
- ・Pergolesi 作曲 Nina
- ・Paisiello 作曲 Nel cor più non mi sento
- ・Giordani 作曲 Caro mio ben
- ・瀧廉太郎 作曲 荒城の月（第1節、第2節のみ）〔山田耕筰編曲〕
- ・信時潔 作曲 北秋の「沙羅」より

#### ②自由曲1曲（暗譜演奏）

- 2 コールユーブンゲン（専修実技と同時に行います）  
コールユーブンゲン第一巻七度音程の転回（大阪開成館発行『全訳・コールユーブンゲン』第31章七度音程の転回No.44）までを含む範囲から試験当日に1曲を指定します。

◆声楽の伴奏譜について

- ・提出する伴奏譜には、氏名を記入しないでください。
- ・移調した場合は、伴奏譜も移調したものを提出してください。
- ・大きさはB5判（縦25cm×横18cm）とし、各ページが表に出るように綴ってください。
- ・印字が不明瞭なもの、書き込みが多く伴奏箇所が読みづらいものは受け付けません。
- ・提出された伴奏譜は返却しません。

（例）4ページの場合



■ピアノコース

下記の1、2をすべて受験してください。

なお、1の専修実技に関しては、①と②両方を暗譜及び繰り返しなしで演奏してください。演奏する曲の順番は自由です。

1 専修実技

① 8分程度の自由曲

複数曲・複数楽章も可。演奏が4分に達しない場合は減点の対象になります。演奏の中断を求めることがあります。

② 下記の練習曲a、b、cの中から任意の1曲

- a ショパン : Op.10もしくはOp.25  
ただし、Op.10-3、6及びOp.25-7は除く
- b モシュコフスキー : 15の練習曲 Op.72
- c ツェルニー : 50の練習曲 Op.740 (699)

2 聴音

8小節程度の単旋律及び四声体和声問題を書き取ります。

## ■管弦打コース

下記の1、2をすべて受験してください。

### 1 専修実技

課題曲（無伴奏、繰り返しなし）自由曲（無伴奏、繰り返しなし）

- ・暗譜の必要はありません。
- ・楽器別の試験内容は下記のとおりです。
- ・演奏の一部省略または中断を求めることがあります。

### 2 新曲視奏（専修実技と同時に行います）

12～16小節程度の新曲を受験する楽器で演奏します。

### 〈弦楽器〉

楽器名	課題曲		自由曲
ヴァイオリン	A・Bどちらかを選択	A Kreutzer : 42 Etudes (Studies) より各自が選んだ1曲	各自が選んだ1曲
		B Rode : 24 Caprices より各自が選んだ1曲	
ヴィオラ	Campagnoli : 41 Caprices より各自が選んだ1曲		各自が選んだ1曲
チェロ	Dotzauer : 113 Studies (Klingenberg 編) より各自が選んだ1曲		各自が選んだ1曲
コントラバス	Simandl : 30 Etudes より各自が選んだ1曲		各自が選んだ1曲

〈管楽器〉スケールの調性は、長調と短調ひとつずつを当日ドイツ語で指定します。スケールのテンポ、リズム、音域は問いません。出版物が指定されている場合には、それに従ってください。

楽器名	課題曲		自由曲	
フルート	A・Bどちらかを選択	A C.J.ANDERSEN : Twenty-Four Studies Op.21 in all the Major and Minor Keys For the Flute [SCHIRMER'S LIBRARY OF MUSICAL CLASSICS または全音 (ZEN-ON Music) 版] より No.10 または No.24	音階： # b 4つまでの長調と短調（和声的短音階）	
		B Ernesto Köhler : 35 Exercises for Flute Op.33 Book 2 12 Medium Difficult Exercises (版の指定はなし) より任意の1曲		
オーボエ	Ferling : 48 Etudes Op.31 (版の指定はなし) より任意の1曲		各自が選んだ1曲	
クラリネット	B b Cl	C.Rose : 32 Etudes (版の指定なし) より任意1曲		音階： # b 4つまでの長調と短調 Rolf Eichler : Scales for Clarinet (国立音楽大学出版) より1番
	E s Cl Alto Cl Bass Cl			音階： # b 4つまでの長調と短調（和声的短音階）
ファゴット	J.Weissenborn : Fifty Bassoon Studies Op.8 vol.2 より No.6 ~ No.15 の中から任意の1曲			

サクソフォーン	A・Bどちらかを選択	A	Marcel Mule : 48 Études Pour Tous Les Saxophones, de Ferling augmentées de 12 Études Nouvelles en diverses tonalités (版の指定はなし) より No.1 ~ No.48の中から任意の1曲	音階： #♭4つまでの長調と短調 (和声的短音階) アーティキュレーションは任意。 サクソフォーンのためのトレーニングブック 須川展也編 (音楽之友社) より	各自が選んだ1曲
		B	L. Blémant : 20 Études mélodiques 第1巻 (版の指定はなし) より No.2, 3, 6, 7, 8, 9, 10の中から任意の1曲		
ホルン	C.Kopprasch : Sixty Selected Studies (版の指定はなし) より No.1 ~ No.30の中から任意の1曲 (No.10, No.11を除く)		音階： #♭4つまでの長調と短調 (和声的短音階)		
トランペット	C.Kopprasch : Sixty Selected Studies (版の指定はなし) より No.7 ~ No.27の中から任意の1曲 (No.18を除く)		音階： Arban: Complete Grand Method (ISM Collection 全音楽譜出版社) 65-81 ページ 4, 19, 31, 38, 47, 53, 59, 65, 70-74, 78-81		
トロンボーン	C.Kopprasch : Sixty Selected Studies (版の指定はなし) より No.7 ~ No.27の中から任意の1曲 (No.18を除く)		音階： #♭4つまでの長調と短調 (和声的短音階)		
ユーフォニアム	Johannes Rochut : Melodious Etudes for Trombone (Carl Fisher 版) より No.3 ~ No.22の中から任意の1曲				
テューバ	C.Kopprasch : Sixty Selected Studies (R.King Music 版) より No.3 ~ No.22の中から任意の1曲				

〈打楽器〉①、②のいずれかを選択し、演奏してください。スケールのテンポ、リズム型は任意、調性は当日指定します。

楽器名	課題曲		自由曲
①小太鼓	1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち、7つ打ち (加速、減速) の中から当日指定するもの、及びロール (pp < ff > pp)		マリンバによる音階： #♭4つまでの長調と短調 (和声的および旋律的短音階)
	A・Bどちらかを選択	A	
B		A.J.Cirone : Portraits in Rhythm より No.3, 13, 15, 31の中から任意の1曲	
②マリンバ	Modern School for Xylophone, Marimba and Vibraphone より 39 Etudes より VII, XII, XVの中から任意の1曲		音階 (2オクターブ)： #♭4つまでの長調と短調 (和声的および旋律的短音階) から当日指定

## ■音楽総合コース

音楽総合コース志願者は、希望する分野（声楽・ピアノ・管弦打・指揮・理論・作曲から1分野）を出願時に選択し、その分野に対応した入試課題を受験すること。

[希望分野と入試課題の対応表]

音楽総合（希望分野）	→	1 実技課題	2 口頭試問	3 音楽基礎課題
音楽総合（声楽）	→	演奏課題（声楽）	口頭試問	新曲視唱
音楽総合（ピアノ）	→	演奏課題（ピアノ）		
音楽総合（管弦打）	→	演奏課題（管弦打）		
音楽総合（指揮）	→	指揮課題		
音楽総合（理論）	→	演奏課題（声楽・ピアノ・管弦打から選択）		
音楽総合（作曲）	→	作曲課題		

以下の1～3すべて受験してください。

### 1 実技課題

#### ○演奏課題（声楽・ピアノ・管弦打・理論分野）

自由曲1曲

- ・無伴奏で10分以内を目安とします。（演奏の一部省略または中断を求めることがあります。）
- ・暗譜の必要はありません。
- ・対応表のとおり、希望分野に応じて声楽または楽器で演奏してください。

管弦打分野・理論分野における受験可能な楽器については22ページを参照してください。

#### ○指揮課題（指揮分野）

モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」K.525（版の指定はなし）より第1楽章を指揮します。演奏者はこちらで用意します。（ピアノによる演奏）

#### ○作曲課題（作曲分野）

下記の課題1，2のうち、事前申請した課題を受験してください。課題1（和声課題）はピアノ使用不可、課題2（ピアノ曲制作課題）はピアノ使用可。課題1、課題2ともに試験時間は90分です。

課題1 和声課題

8小節程度のバス声部をもとに、四声体の和声を完成させてください。なお、バス声部の下部に和音記号を添えてください。

課題2 ピアノ曲制作課題

2～3小節の与えられた旋律を主題として、ピアノのための12～24小節程度の曲を、大譜表を用いて制作してください。なお、曲のイメージに合わせてテンポを指定し、かつ強弱記号や、スラーやスタッカート等のアーティキュレーションを用いて制作してください。

### 2 口頭試問

各分野とも実技課題終了後、面接と同時に行います。試験時間は面接と合わせて15分、自己推薦は30分です。

#### ○声楽・ピアノ・管弦打・理論分野

「演奏課題」で演奏した楽曲の作曲者・内容・形式・時代背景等について問います。

#### ○指揮分野

18世紀から19世紀にかけての西洋音楽に関する基礎的な知識を問います。

### ○作曲分野

課題の実践結果をもとに質疑応答を行い、また、入学後の制作計画について問います。

### 3 音楽基礎課題

新曲視唱（「実技課題」終了後）

8～12小節程度の新曲を歌います。（予見1分間）

## 9 選抜方法

- (1) 美術科については、専攻ごとに、実技試験、作品審査、面接の結果及び調査書等を総合して合格者を決定します。
- (2) 音楽科については、コースごとに、実技試験、面接の結果及び調査書等を総合し、コース間及びコース内における数的バランスを考慮したうえで合格者を決定します。

※全学科（専攻、コース）とも、各評価項目の評価が一定水準に達しないと認められる場合は、総合得点が募集人員の範囲内であっても不合格とする場合があります。

## 10 合格者発表

### (1) 日 時

令和5年12月1日(金) 14時（予定）

### (2) 方 法

- ① 本学内掲示板（音楽棟前）に合格者の受験番号を掲示します。
- ② 本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。
- ③ 合格者には、合格通知書及び入学手続要項等を郵送します。  
なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

## 11 入学手続

合格通知を受けた者は、下記の要領により入学手続を行ってください。

### (1) 入学手続期間

令和5年12月4日(月)から12月28日(木)

- ① 直接持参し提出する場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く9時から16時までです。
- ② 郵送の場合は、必ず「簡易書留」または「レターパック」のいずれか一方とし、令和5年12月28日(木)までの消印のあるものに限り受け付けます。また、封筒に「入学手続書類 在中」と朱書きし、入学予定学科名・受験番号・氏名を明記してください。

### (2) 入学料、その他の納付金及び提出書類

#### ○入学料、その他の納付金

上記入学手続期間中に、入学料及びその他の納付金の納付が必要です。納付後、振込の明細書を提出用台紙に貼付してください。（入学料額は60ページ「学費その他」を参照してください。）

#### ア 令和5年12月4日(月)から12月28日(木)までに必ず提出する書類

- ① 誓約書（本学所定の用紙に必要事項を記入したもの）
- ② 入学料振込の明細書を貼付した提出用台紙
- ③ （入学料に県内生の金額を適用する場合）県内生であることを証する書類（住民票記載事項証明書、住民票写し等）

- ④ その他の納付金振込の明細書を貼付した提出用台紙
- ⑤ その他、合格通知の際に送付する「入学手続要項」に記載する必要な書類
- ※ ①～⑤については、所定の期間内に必ず手続（提出）を行ってください。期間内に入学手続を完了しなかった場合は、合格者としての権利を失います。

#### イ 令和6年3月25日(月)までに追加提出する書類

- ⑥ 高等学校等の卒業証明書または修了証明書
- ⑦ その他、令和6年3月1日(金)以降に送付する「入学案内」に記載する必要な書類
- ※ 郵送（提出）の際は、封筒に「入学手続書類（追加提出分） 在中」と朱書きし、入学予定学科名・受験番号・氏名を明記してください。上記期日までの追加提出が困難な場合は、教務学生部（(3)参照）にご連絡ください。

#### (3) 提出先

〒870-0833 大分市上野丘東1番11号

大分県立芸術文化短期大学 教務学生部 TEL 097-545-0542（代表）  
097-545-4225（直通）



## II 一般選抜

一般選抜は、美術科ではA日程試験及びB日程試験、音楽科ではA日程試験を実施します。

### 1 募集人員

〔A日程試験〕

美術科では、次のとおり専攻ごとに募集します。

学科名	専攻名	募集人員
美術科	美術専攻	11人程度
	デザイン専攻	17人程度

音楽科では、次のとおりコースごとに募集します。

学科名	コース名	募集人員
音楽科	声楽コース	(4～10人程度)
	ピアノコース	(4～10人程度)
	管弦打コース	(7～13人程度)
	音楽総合コース	(2～4人程度)
		26人程度

※音楽科各コースの募集人員〔( )内の数〕はおおよその人数(目安)であり、志願者数その他の状況で増減します。

〔B日程試験〕

美術科では、次のとおり専攻ごとに募集します。

学科名	専攻名	募集人員
美術科	美術専攻	2人程度
	デザイン専攻	3人程度

※音楽科では、B日程試験は実施しません。

### 2 出願資格

美術科・音楽科の一般選抜に出願することができる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和5年度中に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年度中に修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認

定試験に合格した者（従前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び令和6年3月31日までに合格見込みの者で、令和6年3月31日までに満18歳に達する者

- (8) 令和6年3月31日までに満18歳に達している者で、本学の個別の入学資格審査<sup>(注)</sup>により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(注) 本学の個別の入学資格審査実施要項は、本学ホームページに掲載されています。

### 3 試験期日及び試験場

#### 〔A日程試験〕

学 科	試 験 期 日	試 験 場
美 術 科	令和6年2月8日(木)・2月9日(金)	本 学
音 楽 科	令和6年2月8日(木)・2月9日(金) <sup>(注)</sup>	本 学

※本学の下見は、次の日時のみ許可します。ただし、建物の中に立ち入ることはできません。

令和6年2月7日(水)13時～17時

- (注) 出願時に、学力試験（国語、英語）について、大学入学共通テスト利用を選択した場合の試験実施日程は、大学入学共通テスト実施期日のとおり。ただし、音楽基礎科目及び実技試験は、上記期日に本学で実施します。

#### 〔B日程試験〕

学 科	試 験 期 日	試 験 場
美 術 科	令和6年3月14日(木)	本 学
音 楽 科	(音楽科では、B日程試験は実施しません。)	

※本学の下見は、次の日時のみ許可します。ただし、建物の中に立ち入ることはできません。

令和6年3月13日(水)13時～17時

### 4 出願手続

#### (1) 事前準備

出願手続きは、インターネットに接続されたパソコン、タブレット端末等から行います。また、以下の準備が必要です。

##### ① 受信可能なメールアドレス

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。出願登録完了時・入学考査料支払い完了時には、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

(携帯メールアドレスの場合は@contact.grapecity.comおよび@oita-pjc.ac.jpからのメールを受信できるように設定してください)

##### ② PDFファイルを開くためのアプリケーション

Adobe社の「Adobe Acrobat Reader」を推奨します。

##### ③ A4サイズを出力できるカラープリンター

「一般選抜願書」「受験票」（カラー印刷すること）など、受験に必要な書類を印刷します。

##### ④ 出願に必要な書類及び顔写真データ

出願手続きを始める前に、募集要項をよく読み、必要となる書類、顔写真の画像などを準備してください。

※必要書類の中には発行に時間のかかるものもありますので、早めにご用意ください。

(2) 出願期間

〔A日程試験〕

令和6年1月9日(火)から1月26日(金)まで

※期間内に(3)のSTEP1～5までの手続が必要です。

〔B日程試験〕

令和6年2月26日(月)から3月8日(金)まで

※期間内に(3)のSTEP1～5までの手続が必要です。

(3) 出願手順 ※詳細はWeb出願サイトのマニュアルを参照してください。

**STEP1 事前登録**

本学ホームページからWeb出願サイトにアクセスし、メールアドレスやパスワードの事前登録を行います。

※Web出願サイト公開後から、事前登録を行っていただけます。

**STEP2 写真のアップロード**

顔写真データは、デジタルカメラやスマートフォンで撮影したデータも可能です。

**STEP3 出願情報の登録**

画面の指示に従って出願に必要な情報を入力してください。

①選抜区分 ②試験名 ③志願者情報

**STEP4 入学考査料の支払い(入学考査料は出願1件につき、18,000円です)**

コンビニエンスストア・Pay-easy(ペイジー)・クレジットカードをご利用いただけます。

※全ての支払方法に対して、事務手数料がかかります。事務手数料はご本人負担となります。

**STEP5 出願書類の提出(持参または郵送)**

「一般選抜願書」や「調査書」など必要書類を本学へ持参または郵送します。

〈持参の場合〉

受付時間：9時から16時まで(土・日・祝日を除く)

受付期限：A日程：令和6年1月29日(月)16時まで

B日程：令和6年3月11日(月)16時まで

〈郵送の場合〉

受付期限：A日程：令和6年1月26日(金)までの消印があるもの

B日程：令和6年3月8日(金)までの消印があるもの

※郵送の際は必ず「簡易書留」または「レターパック」のいずれか一方としてください。

提出・送付先：〒870-0833 大分市上野丘東1番11号

大分県立芸術文化短期大学 教務学生部

TEL：097-545-0542(代表)、097-545-4225(直通)

## ◎提出する書類

出願書類等		摘 要
1	一般選抜 願 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web 出願サイトに必要事項を入力し、入学考査料支払手続き完了後カラー印刷をしてください。(拡大・縮小せず、A4で印刷)</li> <li>[音楽科：共通テスト利用者]</li> <li>「大学入学共通テスト成績請求書」のうち、「私立大学・短期大学用」を所定欄に必ず貼付してください。(過年度のものは使用できません)</li> </ul>
2	調 査 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>在学する学校長が文部科学省の定めた様式により作成し、厳封したものであること。なお、高等学校卒業程度認定試験の合格者等については、当該試験の成績証明書をもって調査書に代えることができます。また、大学卒業者については大学の成績証明書をもって調査書に代えることができます。</li> <li>また、出身学校の指導要録の保存期間が経過したものや、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、出身学校の卒業証明書等を調査書に代えることができます。</li> </ul>
3	宛名ラベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web 出願サイトから印刷をして、書類を郵送する際に封筒やレターパックに貼り付けて使用してください。</li> </ul>
4	音楽科実技 試験課題曲 等届出票	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学考査料支払手続き完了後印刷をし、必要事項を記載してください。(拡大・縮小せず、A4で印刷)</li> </ul>
5	伴 奏 譜	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽科（声楽コース）出願者のみ</li> </ul>

## STEP 6 受験票の印刷

出願書類受領後、通知メールが届きます。もし、出願後1週間経っても通知メールが届かない場合は教務学生部（TEL：097-545-4225）にご連絡ください。

受験票は、Web出願サイトからカラー印刷し、試験当日に必ず持参してください。当日、受験票を忘れた者は、速やかに総合案内所で仮受験票の交付を受けてください。

受験票は、成績開示請求等の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

## 5 出願にあたっての留意事項

### (1) 音楽科における「コース」について

#### ①「コース」の選択について

音楽科は以下のコースに分かれており、コースごとに合格者を決定します。

入学希望コースを入学願書に明記してください。

学 科	コ ー ス
音 楽 科	声 楽 コ ー ス
	ピ ア ノ コ ー ス
	管 弦 打 コ ー ス
	音 楽 総 合 コ ー ス

## ②音楽総合コースでの学びと分野の選択について

音楽総合コースは6つの「分野」（声楽・ピアノ・管弦打・指揮・理論・作曲）から1分野を選択して「楽曲分析」と組み合わせて総合的に音楽を学ぶコースです。音楽総合コースを志願する場合、希望分野を出願時に選択し入学願書に明記してください。

## (2) 音楽科管弦打コース及び音楽総合コースの受験可能楽器について

①音楽科管弦打コース及び音楽総合コース（管弦打）において受験可能な楽器は、次のとおりとします。

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット（※1）、ファゴット、サクソフォーン（※2）、ホルン、トランペット、トロンボーン（テナー、バス）、ユーフォニアム、テューバ、打楽器（小太鼓、マリンバ）

### ※1 クラリネット

B♭クラリネットが主であるが、E♯クラリネット、Altoクラリネット、Bassクラリネットでも受験可能である。ただし、入学後はB♭クラリネットを中心にレッスンを行う。

### ※2 サクソフォーン

アルト・サクソフォーンが基本であるが、ソプラノ・サクソフォーン、テナーサクソフォーン、バリトン・サクソフォーンのいずれの楽器でも受験可能である。ただし、入学後はアルト・サクソフォーンを中心にレッスンを行う。

②音楽科音楽総合コース（理論）の演奏課題において受験可能な楽器は、上記①音楽科管弦打コース及び音楽総合コース（管弦打）の受験可能楽器に声楽・ピアノを加えたものとします。

## (3) 音楽科実技試験の順番、開始時間の発表について

実技試験の順番は、出願書類の受付順と関係ありません。

実技試験の順番や受付時刻等は、2月7日(水)頃に本学の「掲示板」および「ホームページ」にて発表します。

## (4) 音楽科の一般選抜におけるコース併願について

音楽科の一般選抜においては、声楽コース・音楽総合コースを第2希望として併願することができます。コース併願する場合であっても入学考査料の追加納付は不要です。（詳細は、40ページ参照）

## (5) 音楽科の一般選抜における学力試験について

音楽科の一般選抜における学力試験は、「本学独自の学力試験」、または「大学入学共通テスト利用」のどちらかひとつを選択してください。

## 6 一般選抜願書作成上の留意事項

- (1) J I S規格の第一水準・第二水準以外の文字やローマ数字、丸囲み文字は入力できません。氏名や住所に正しい漢字登録ができない場合は、代替の文字を入力し、印刷した「一般選抜願書」に該当箇所を赤字で正しい漢字に訂正してください。本学にて修正いたします。
- (2) 音楽科実技試験課題曲等届出票の記入にあたっては、黒インクまたは黒ボールペンを使用し、文字はかい書で、数字は算用数字で記入し、該当語句は○で囲んでください。
- (3) 書き損じた場合は、当該部分を二重線で消すとともに、訂正印を押し、余白に正しい内容を記入してください。修正液や修正テープ等は使用しないでください。

## 7 試験内容等

### 美術科

#### 〔A日程試験〕

##### (1) 学力試験（令和6年2月8日(木)）

受験者は、9時までに芸術デザイン棟の受験会場に集合してください。（美術専攻・デザイン専攻共通）

##### (2) 実技試験（令和6年2月9日(金)）

受験者は、8時から8時30分までの間に以下の指定された場所に集合してください。

- ・美術専攻：受験者控室
- ・デザイン専攻：芸術デザイン棟の受験会場

日 程	試験種別		試験時間	試験内容等	配 点
2月8日(木)	学力試験	外国語	9:30～ 10:30	英語（リスニングは行いません）	<b>■美術専攻</b> 学力試験 200点 実技試験 400点 計600点  <b>■デザイン専攻</b> 学力試験 200点 実技試験 200点 計400点
		国語	11:10～ 12:10	国語（古文・漢文を除きます）	
2月9日(金)	実技試験	美術専攻	9:00～ 12:00  13:00～ 16:00	水彩画 油彩画 <span style="font-size: 2em;">}</span> どちらか1つを選択  ※携行品…水彩画または油彩画制作に必要な用具とします。 （注）キャンバス・水彩パネル（F12号）は本学で準備します。	
		デザイン専攻	9:00～ 12:00  13:00～ 15:00	構成デッサン ※携行品…鉛筆、消しゴムまたはネリゴム （注）用紙（四つ切り画用紙）・カルトン・クリップは本学で準備します。	

※英語・国語（本学独自学力試験）の出題範囲について

「英語」：「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて、「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とします。リスニングは行いません。

「国語」：「国語総合」の内容を出題範囲とします。ただし、古典（古文・漢文）は除きます。

※近隣には飲食店等がありませんので、昼食は持参してください。

## 〔B日程試験〕

## 実技試験及び小論文（令和6年3月14日(木)）

受験者は、8時から8時30分までの間に以下の指定された場所に集合してください。

- ・美術専攻：受験者控室
- ・デザイン専攻：芸術デザイン棟の受験者控室

試験種別	試験時間	試験内容等	配点	配点合計
実 技 試 験	9：00～12：00	<b>美術専攻</b> デッサン ※携行品…木炭、鉛筆、パン、ネリゴムまたは消しゴム等デッサンに必要な用具（選択自由・併用可） （注）用紙（木炭紙または木炭紙大画用紙）・カルトン・クリップは本学で準備します。 <b>デザイン専攻</b> デッサン ※携行品…鉛筆、消しゴムまたはネリゴム （注）用紙（四つ切り画用紙）・カルトン・クリップは本学で準備します。	200点	400点
小 論 文	13：00～14：30	問題文を読んで自分の考えを800字以内の小論文にまとめる。	200点	

※近隣には飲食店等がありませんので、昼食は持参してください。

# 音 楽 科

## 〔A日程試験〕

### (1) 学力試験及び音楽基礎科目（令和6年2月8日(木)）

学力試験で「ア 独自試験」を選択した受験者は、9時までに試験会場に集合してください。なお、「イ 大学入学共通テスト利用」を選択した受験者は、同日午後の音楽基礎科目の試験について説明を行いますので、12時10分までに音楽ホール棟レストランに集合してください。

### (2) 実技試験（令和6年2月9日(金)、音楽総合コース指揮・作曲分野は令和6年2月8日(木)）

受験者は、2月7日(水)までに本学の「掲示板」もしくは「ホームページ」で自分の実技試験の順番及び受付時刻を確認し、当日、指定された受付時刻までに受付場所（音楽棟入口）にて受付を済ませてください。当日は試験開始予定時刻の1時間前から練習室の利用が可能です。練習室へは受付終了後係員が誘導します。なお、電話等でのお問い合わせや練習室の事前予約等には応じられません。

日 程	試験種別		コース	試験時間	試験内容等		配点
					※詳細は音楽基礎科目と実技試験の内容を参照		
2月8日 (木)	学力試験	外国語	全コース	9:30～ 10:30	英語（リスニングは行いません）	※「大学入学共通テスト利用」選択者には、本学の個別学力試験（独自学力試験）は課しません。	100点
		国語		11:10～ 12:10	国語（古文・漢文を除きます）。		100点
	音楽基礎科目	音楽		13:30～	コールユーブンゲン		100点
		ピアノ			聴音		100点
		管弦打			新曲視奏		100点
		音楽総合			新曲視唱		100点
	実技試験	音楽総合		15:30～	（作曲分野）作曲課題・口頭試問		各200点
		音楽総合		16:30～	（指揮分野）指揮課題・口頭試問		各200点
2月9日 (金)	実技試験		音楽	13:00～	課題曲・自由曲		400点
			ピアノ	9:30～	自由曲・練習曲		400点
			管弦打	9:30～	課題曲・自由曲		400点
			音楽総合	9:30～	（ピアノ分野）演奏課題・口頭試問		各200点
				12:00～	（理論分野）演奏課題・口頭試問		各200点
				13:00～	（音楽分野）演奏課題・口頭試問		各200点
14:30～	（管弦打分野）演奏課題・口頭試問			各200点			

※本学独自学力試験（英語・国語）の出題範囲について

「英語」：「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて、「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とします。リスニングは行いません。

「国語」：「国語総合」の内容を出題範囲とします。ただし、古典（古文・漢文）は除きます。

※「大学入学共通テスト利用」を選択した場合、共通テストの英語は、リスニングは課さず、筆記について100点満点に換算します。共通テストの国語は、古文・漢文の分野を除いた部分の得点を100点満点に換算します。

※2月8日(木)の夕方、希望者に練習室を開放します。受付は、同日の15時（もしくは、音楽基礎科目の試験終了後）に行います。利用時間は18時までとします。（詳細は当日説明します。）

※近隣には飲食店等がありませんので、昼食は持参してください。



(3) 併願について

以下は、各コースの組合せと受験科目の一覧表です。併願を行う受験者は受験科目をよく確認してください。時間が重なる場合は、時間調整を行います。

		第 1 希 望				
		声楽コース	ピアノコース	管弦打コース	音楽総合コース	
第 2 希 望	声楽コース		聴音 コールユーブンゲン ピアノ実技 声楽実技	新曲視奏 コールユーブンゲン 管弦打実技 声楽実技	音楽総合コースを第1希望とする併願はできません。(音楽総合コースの単願はできます。)	
	ピアノコース	ピアノコースを第2希望とすることはできません。				
	管弦打コース	管弦打コースを第2希望とすることはできません。				
	音楽総合コース	(声楽)	コールユーブンゲン 新曲視唱 声楽実技 口頭試問	聴音 新曲視唱 ピアノ実技 演奏課題(声楽演奏) 口頭試問	新曲視奏 新曲視唱 管弦打実技 演奏課題(声楽演奏) 口頭試問	音楽総合コース内で複数の分野を選択することはできません。
		(ピアノ)	コールユーブンゲン 新曲視唱 声楽実技 演奏課題(ピアノ演奏) 口頭試問	聴音 新曲視唱 ピアノ実技 口頭試問	新曲視奏 新曲視唱 管弦打実技 演奏課題(ピアノ演奏) 口頭試問	
		(管弦打)	コールユーブンゲン 新曲視唱 声楽実技 演奏課題(管弦打演奏) 口頭試問	聴音 新曲視唱 ピアノ実技 演奏課題(管弦打演奏) 口頭試問	新曲視奏 新曲視唱 管弦打実技 口頭試問	
		(指揮)	コールユーブンゲン 新曲視唱 声楽実技 指揮課題 口頭試問	聴音 新曲視唱 ピアノ実技 指揮課題 口頭試問	新曲視奏 新曲視唱 管弦打実技 指揮課題 口頭試問	
(作曲)		コールユーブンゲン 新曲視唱 声楽実技 作曲課題 口頭試問	聴音 新曲視唱 ピアノ実技 作曲課題 口頭試問	新曲視奏 新曲視唱 管弦打実技 作曲課題 口頭試問		
(理論)	コールユーブンゲン 新曲視唱 声楽実技 口頭試問	聴音 新曲視唱 ピアノ実技 口頭試問	新曲視奏 新曲視唱 管弦打実技 口頭試問			

※音楽総合コースを第2希望とする場合の特例

声楽・ピアノ・管弦打コースを第1希望、音楽総合コース(指揮・作曲分野を除く)の同じ演奏形態の分野または理論分野を第2希望として併願する場合、音楽総合コースの「演奏課題」を受験する必要はありません。

(4) 音楽基礎科目と実技試験の内容

① 音楽基礎科目

■声楽コース

コールユーブンゲン…コールユーブンゲン第一巻七度音程の転回（大阪開成館発行『全訳・コールユーブンゲン』第31章七度音程の転回No.44）までを含む範囲から試験当日に1曲を指定します。

■ピアノコース

聴音…8小節程度の単旋律及び四声体和声問題を書き取ります。

■管弦打コース

新曲視奏…12～16小節程度の新曲を受験する楽器で演奏します。

■音楽総合コース

新曲視唱…8～12小節程度の新曲を歌います。（予見1分間）

※併願希望者で音楽基礎科目を2科目受験し、「聴音」がある場合、まず「聴音」から受験してください。それ以外の場合は、当日の指示に従って受験してください。

② 実技試験

■声楽コース

下記の1、2をすべて受験してください。

- ・全て暗譜で演奏してください。
- ・課題曲、自由曲ともにすべて原語とし、アリアを除き移調可とします。
- ・伴奏者の同伴は不要です。
- ・課題曲・自由曲共に伴奏譜は必ず入学願書に添えて提出してください。（体裁については下記参照。）

1 課題曲1曲（暗譜演奏）

下記の6曲の中から1曲を選択し演奏してください。移調可とします。

- ・Caldara 作曲 Sebben crudele
- ・Pergolesi 作曲 Nina
- ・Paisiello 作曲 Nel cor più non mi sento
- ・Giordani 作曲 Caro mio ben
- ・瀧廉太郎 作曲 荒城の月（第1節、第2節のみ）〔山田耕筰編曲〕
- ・信時潔 作曲 北秋の「沙羅」より

2 自由曲1曲（暗譜演奏）

◆声楽の伴奏譜について

- ・提出する伴奏譜には、氏名を記入しないでください。
- ・移調した場合は、伴奏譜も移調したものを提出してください。
- ・大きさはB5判（縦25cm×横18cm）とし、各ページが表に出るように綴ってください。
- ・印字が不明瞭なもの、書き込みが多く伴奏箇所が読みづらいものは受け付けません。
- ・提出された伴奏譜は、返却しません。

（例）4ページの場合



## ■ピアノコース

下記の課題1、2をすべて受験してください。

(暗譜及び繰り返しなしで演奏してください。演奏する曲の順番は自由です。)

- 1 8分程度の自由曲  
複数曲・複数楽章も可。演奏が4分に達しない場合は減点の対象になります。また、演奏の中断を求めることがあります。
- 2 下記の練習曲a、b、cの中から任意の1曲
  - a ショパン : Op.10もしくはOp.25  
ただしOp.10-3、6及びOp.25-7は除く
  - b モシュコフスキー : 15の練習曲 Op.72
  - c ツェルニー : 50の練習曲 Op.740 (699)

## ■管弦打コース

課題曲(無伴奏、繰り返しなし)と自由曲1曲(無伴奏、繰り返しなし)

- ・暗譜の必要はありません。
- ・楽器別の試験内容は、27～28ページ〈弦楽器〉〈管楽器〉〈打楽器〉のとおりです。
- ・演奏の一部省略または中断を求めることがあります。

## ■音楽総合コース

音楽総合コース志願者は、希望する分野(声楽・ピアノ・管弦打・指揮・理論・作曲から1分野)を出願時に選択し、その分野に対応した入試課題を受験すること。

[希望分野と入試課題の対応表]

音楽総合(希望分野)	→	1 実技課題	2 口頭試問
音楽総合(声楽)	→	演奏課題(声楽)	口頭試問
音楽総合(ピアノ)	→	演奏課題(ピアノ)	
音楽総合(管弦打)	→	演奏課題(管弦打)	
音楽総合(指揮)	→	指揮課題	
音楽総合(理論)	→	演奏課題(声楽・ピアノ・管弦打から選択)	
音楽総合(作曲)	→	作曲課題	

下記の1,2すべて受験してください。

### 1 実技課題

#### ○演奏課題(声楽・ピアノ・管弦打・理論分野)

自由曲1曲

- ・無伴奏で10分以内を目安とします。(演奏の一部省略または中断を求めることがあります。)
- ・暗譜の必要はありません。
- ・対応表のとおり、希望分野に応じて声楽または楽器で演奏してください。

管弦打分野・理論分野における受験可能な楽器については36ページを参照してください。

#### ○指揮課題(指揮分野)

モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」K.525(版の指定はなし)より第1楽章を指揮します。演奏者はこちらで用意します。(ピアノによる演奏)

#### ○作曲課題(作曲分野)

下記の課題1、2のうち、事前申請した課題を受験してください。課題1(和声課題)はピア

ノ使用不可、課題2（ピアノ曲制作課題）はピアノ使用可。課題1、課題2ともに試験時間は90分です。

#### 課題1 和声課題

8小節程度のバス声部をもとに、四声体の和声を完成させてください。なお、バス声部の下部に和音記号を添えてください。

#### 課題2 ピアノ曲制作課題

2～3小節の与えられた旋律を主題として、ピアノのための12～24小節程度の曲を、大譜表を用いて制作してください。なお、曲のイメージに合わせてテンポを指定し、かつ強弱記号や、スラーやスタッカート等のアーティキュレーションを用いて制作してください。

## 2 口頭試問

各分野とも約15分間、実技課題終了後に行います。（受験者数、実技試験の進行状況によって変動するので、試験当日の指示に従ってください。）

### ○声楽・ピアノ・管弦打・理論分野

「演奏課題」で演奏した楽曲<sup>※注</sup>の作曲者・内容・形式・時代背景等について問います。

### ○指揮分野

18世紀から19世紀にかけての西洋音楽に関する基礎的な知識を問います。

### ○作曲分野

課題の実践結果をもとに、質疑応答を行い、また、入学後の制作計画について問います。

※注 併願者で第1希望と第2希望の演奏形態が同じ場合、第1希望コースの実技試験で演奏した曲のうち自由曲を対象とします。

### 〔B日程試験〕

音楽科はB日程での募集は行いません。

## 8 選抜方法

### 〔A日程試験〕

- (1) 美術科については、専攻ごとに、学力試験、実技試験の結果及び調査書を総合して合格者を決定します。
- (2) 音楽科については、コースごとに、学力試験、音楽基礎科目、実技試験の結果及び調査書を総合し、コース間及びコース内における数的バランスを考慮したうえで合格者を決定します。また、コース併願で第1希望のコースに合格した場合は、第2希望のコースは合否の対象外とします。

### 〔B日程試験〕

- (1) 美術科については、実技試験、小論文の結果及び調査書を総合して合格者を決定します。
- (2) 音楽科については、B日程での募集・選抜は行いません。

※全学科（専攻、コース）・全日程とも、各評価項目の評価が一定水準に達しないと認められる場合は、総合得点が募集人員の範囲内であっても不合格とする場合があります。

## 9 合格者発表

### (1) 日 時

〔A日程試験〕

令和6年2月20日(火) 14時(予定)

〔B日程試験〕

令和6年3月18日(月) 14時(予定)

### (2) 方 法

- ① 本学内掲示板(音楽棟前)に合格者の受験番号を掲示します。
- ② 本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。
- ③ 合格者には、合格通知書、入学手続要項及び入学案内等を郵送します。  
なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

## 10 入学手続

合格通知を受けた者は、下記の要領により入学手続を行ってください。

### (1) 入学手続期間

〔A日程試験合格者〕

令和6年2月21日(水)から3月1日(金)まで

- ① 直接持参し提出する場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く9時から16時までです。なお、持参の場合に限り、令和6年3月4日(月)の16時まで受け付けます。
- ② 郵送の場合は、必ず「簡易書留」または「レターパック」のいずれか一方とし、令和6年3月1日(金)までの消印のあるものに限り受け付けます。また、封筒に「入学手続書類在中」と朱書きし、入学予定学科名・受験番号・氏名を明記してください。

〔B日程試験合格者〕

令和6年3月19日(火)から3月25日(月)まで

- ① 直接持参し提出する場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く9時から16時までです。なお、持参の場合に限り、令和6年3月26日(火)の16時まで受け付けます。
- ② 郵送の場合は、必ず「簡易書留」または「レターパック」のいずれか一方とし、令和6年3月25日(月)までの消印のあるものに限り受け付けます。また、封筒に「入学手続書類在中」と朱書きし、入学予定学科名・受験番号・氏名を明記してください。

### (2) 入学料、その他の納付金及び提出書類

#### ○入学料、その他の納付金

上記入学手続期間中に、入学料及びその他の納付金の納付が必要です。納付後、振込の明細書を提出用台紙に貼付してください。(入学料額は60ページ「学費その他」を参照してください。)

#### ア (1)の入学手続期間内に必ず提出する書類

- ① 誓約書(本学所定の用紙に必要事項を記入したもの)
- ② 入学料振込の明細書を貼付した提出用台紙
- ③ (入学料に県内生の金額を適用する場合)県内生であることを証する書類(住民票記載事項証明書、住民票写し等)

- ④ その他の納付金振込の明細書を貼付した提出用台紙
- ⑤ その他、合格通知の際に送付する「入学手続要項」に記載する必要な書類
- ※ ①～⑤については、所定の期間内に必ず手続（提出）を行ってください。期間内に入学手続を完了しなかった場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。（いかなる例外も認められません。）

#### イ 入学手続完了後、別便にて追加提出する書類

- ⑥ 高等学校等の卒業証明書または修了証明書
- ⑦ その他、合格通知の際に送付する「入学手続要項」に記載する必要な書類

（⑥～⑦の提出期限）

##### [A日程試験合格者]

・令和6年3月25日(月)までに提出（①～⑤と同時提出も可）

※ 郵送（提出）の際は、封筒に「入学手続書類（追加提出分） 在中」と朱書きし、入学予定学科名・受験番号・氏名を明記してください。上記期日までの提出が困難な場合は、教務学生部（(3)参照）にご連絡ください。

##### [B日程試験合格者]

・B日程合格者については、原則として、(1)の入学手続期間内に①～⑤の書類と同時に提出してください。同時提出が困難な場合は、教務学生部（(3)参照）にご連絡ください。

#### ※ 入学手続完了者の入学辞退

入学手続を完了した者が入学を辞退する場合は、「入学辞退届」を必ず提出してください。（入学辞退届の様式や提出方法等は別途お示しします。）

#### (3) 提出先

〒870-0833 大分市上野丘東1番11号

大分県立芸術文化短期大学 教務学生部 TEL 097-545-0542（代表）  
097-545-4225（直通）

# 国際総合学科・情報コミュニケーション学科

## I 推薦型選抜

### 1 募集人員

#### 《一般推薦》

学 科	募 集 人 員
国 際 総 合 学 科	35 人程度
情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	40 人程度

#### 《特別推薦》

学 科	募 集 人 員
国 際 総 合 学 科	15 人程度
情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	10 人程度

### 2 出願資格及び推薦要件

#### 《一般推薦》 ※国際総合学科・情報コミュニケーション学科 共通

出願できる者は、次の(1)、(2)または(3)に該当する者のうち、在学する学校長の推薦書があり、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者です。合格した場合は必ず入学するものとします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を令和5年度中に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和5年度中に修了見込みの者
- (3) (1)、(2)以外の教育機関を令和5年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学学長が認めた者

#### 《特別推薦》 ※国際総合学科

出願できる者は、次の(1)、(2)または(3)に該当する者のうち、在学する学校長の推薦書があり、(4)及び(5)の条件を満たす者です。合格した場合は必ず入学するものとします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を令和5年度中に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和5年度中に修了見込みの者
- (3) (1)、(2)以外の教育機関を令和5年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学学長が認めた者
- (4) 調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上の者
- (5) 次のア～カのいずれかの項目に該当する者
  - ア 「国語」「外国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」のうち、いずれか1教科の学習成績の状況が4.0以上の者
  - イ 読書感想文、作文コンクール、スピーチコンテストなどの活動で県内の審査で入賞した者
  - ウ 実用英語技能検定試験準2級以上、中国語検定試験準4級以上もしくは実用中国語技能検定試験5級以上、実用フランス語技能検定試験5級以上、ハングル能力検定試験5級以上もしくは韓国語能力試験1級以上のうち、いずれかに該当する者、またはそれと同等の能

力を有する者

- エ 日商簿記検定2級以上、全商簿記実務検定1級以上、全商珠算・電卓実務検定1級以上、全商商業経済検定1級以上、日商PC検定（文書作成）2級以上、日商PC検定（データ活用）2級以上、全商ワープロ実務検定1級以上のうち、いずれかに該当する者、またはそれと同等以上の能力を有する者
- オ ボランティア活動など社会活動を積極的・主体的に行ってきた者
- カ その他、スポーツや文化などの分野で優れた活動をした者

#### 《特別推薦》 ※情報コミュニケーション学科

出願できる者は、次の(1)、(2)または(3)に該当する者のうち、在学する学校長の推薦書があり、(4)及び(5)の条件を満たす者です。合格した場合は必ず入学するものとします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を令和5年度中に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和5年度中に修了見込みの者
- (3) (1)、(2)以外の教育機関を令和5年度中に卒業または卒業見込みの者で、本学学長が認めた者
- (4) 調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上の者
- (5) 次のア～オのいずれかの項目に該当する者
  - ア 生徒会活動、部活動などで主体的・指導的な活動をしてきた者
  - イ 地域活動、野外活動（ボーイスカウト、ガールスカウトなど）、ボランティア活動など社会活動を主体的・継続的に行ってきた者
  - ウ 放送コンクール、新聞コンクール、弁論大会、スピーチコンテスト、情報処理競技会など、都道府県レベルの大会で入賞した者
  - エ ワープロ・パソコン検定、簿記検定等で2級以上の資格を取得済みの者、または、すでに3級以上を取得済みで、入学後に2級の取得をめざす者。ITパスポート（経済産業省の情報処理技術者試験）を取得済みの者
  - オ その他の分野で卓越した才能を有する者、または、優れた活動をした者

### 3 推薦者数

令和6年度選抜から、1校から推薦できる人数の上限がなくなりました。

### 4 試験期日及び試験場

学 科	試 験 期 日	試験場
国 際 総 合 学 科	令和5年11月19日(日)	本 学
情報コミュニケーション学科	令和5年11月19日(日)	本 学

※本学の下見は、次の日時のみ許可します。ただし、建物の中に立ち入ることはできません。  
令和5年11月18日(土) 13時～17時

### 5 出願手続

#### (1) 事前準備

出願手続きは、インターネットに接続されたパソコン、タブレット端末等から行います。また、以下の準備が必要です。

##### ① 受信可能なメールアドレス

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。出願登録完了時・入学料支払い完了時



には、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

(携帯メールアドレスの場合は@contact.grapecity.comおよび@oita-pjc.ac.jpからのメールを受信できるように設定してください)

- ② PDFファイルを開くためのアプリケーション  
Adobe社の「Adobe Acrobat Reader」を推奨します。
- ③ A4サイズを出力できるカラープリンター  
「推薦型選抜願書」「受験票」(カラー印刷すること)など、受験に必要な書類を印刷します。
- ④ 出願に必要な書類及び顔写真データ  
出願手続きを始める前に、募集要項をよく読み、必要となる書類、顔写真の画像などを準備してください。  
※必要書類の中には発行に時間のかかるものもありますので、早めにご用意ください。

## (2) 出願期間

令和5年11月1日(水)から11月9日(木)まで

※期間内に(3)のSTEP1～5までの手続が必要です。

## (3) 出願手順

※詳細はWeb出願サイトのマニュアルを参照してください。

### STEP 1 事前登録

本学ホームページからWeb出願サイトにアクセスし、メールアドレスやパスワードの事前登録を行います。

※Web出願サイト公開後から、事前登録を行っていただけます。

### STEP 2 写真のアップロード

顔写真データは、デジタルカメラやスマートフォンで撮影したデータも可能です。

### STEP 3 出願情報の登録

画面の指示に従って出願に必要な情報を入力してください。

①選抜区分 ②試験名 ③志願者情報

### STEP 4 入学考査料の支払い(入学考査料は出願1件につき、18,000円です)

コンビニエンスストア・Pay-easy(ペイジー)・クレジットカードをご利用いただけます。

※全ての支払方法に対して、事務手数料がかかります。事務手数料はご本人負担となります。

### STEP 5 出願書類の提出(持参または郵送)

「推薦型選抜願書」や「調査書」など必要書類を本学へ持参または郵送します。

#### 〈持参の場合〉

受付時間：9時から16時まで(土・日・祝日を除く)

受付期限：令和5年11月10日(金)16時まで

#### 〈郵送の場合〉

受付期限：令和5年11月9日(木)までの消印があるもの

※郵送の際は必ず「簡易書留」または「レターパック」のいずれか一方としてください。

提出・送付先：〒870-0833 大分市上野丘東1番11号

大分県立芸術文化短期大学 教務学生部

TEL：097-545-0542(代表)、097-545-4225(直通)

## ◎提出する書類

出願書類等		摘 要
1	推薦型選抜願 書	・ Web 出願サイトに必要事項を入力し、入学考査料支払手続き完了後カラー印刷をしてください。(拡大・縮小せず、A4で印刷)
2	調 査 書	・ 在学する学校長が文部科学省の定めた様式により作成し、厳封したものであること。
3	推 薦 書	〈一般推薦〉 ・ 在学する学校長が作成した「推薦書(一般推薦用)」(国際総合学科・情報コミュニケーション学科共通。様式は本学ホームページに掲載する) 〈特別推薦〉 ・ 在学する学校長が作成した「推薦書(特別推薦用)」(国際総合学科・情報コミュニケーション学科共通。様式は本学ホームページに掲載する) [特別推薦項目に対する証明書等] (注) ※A4サイズ ・ 活動状況を示す学校顧問等の証明書 (任意様式) ・ コンクール等での賞状の写し ・ 有資格を証明する書類の写し 等
4	宛名ラベル	・ Web 出願サイトから印刷をして、書類を郵送する際に封筒やレターパックに貼り付けて使用してください。

(注) 特別推薦項目に対する証明書等について

- ・ 特別推薦項目は1項目のみとしてください。
- ・ 証明書等は、推薦項目が証明できればよいので精選して添付してください。
- ・ 証明書等が複数枚に渡る場合は、ゼムクリップ等でまとめてください。
- ・ 証明書等は必ず各3部提出してください。
- ・ 国際総合学科「ア」については、調査書で確認するので不要です。

## STEP 6 受験票の印刷

出願書類受領後、通知メールが届きます。もし、出願後1週間経っても通知メールが届かない場合は教務学生部 (TEL: 097-545-4225) にご連絡ください。

受験票は、Web出願サイトからカラー印刷し、試験当日に必ず持参してください。当日、受験票を忘れた者は、速やかに総合案内所で仮受験票の交付を受けてください。

受験票は、成績開示請求等の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

## 6 出願にあたっての留意事項

### (1) 併願について

推薦型選抜では、複数の学科 (専攻、コース、分野)、複数の推薦区分の併願はできません。

### (2) 推薦型選抜と一般選抜の受験について

推薦型選抜に不合格となった者で、一般選抜を受験しようとする者は、新たに一般選抜の出願手続を行ってください。

## 7 推薦型選抜願書作成上の留意事項

JIS規格の第一水準・第二水準以外の文字やローマ数字、丸囲み文字は入力できません。氏名や住所に正しい漢字登録ができない場合は、代替の文字を入力し、印刷した「推薦型選抜願書」に該当箇所を赤字で正しい漢字に訂正してください。本学にて修正いたします。

## 8 試験内容等

受験者は、9時30分までに人文棟に集合してください。

試験種別	試験時間	試験内容	配点等	配点合計
小論文	10:00～11:30	1,000字程度の課題文を読んで、自分の考えを800字以内の小論文にまとめる。	60点	100点
面接	12:30～	10分程度の個人面接	40点	
調査書	-	-	重視	

※小論文は、両学科それぞれ独自の課題文を出題します。ただし、同一学科の推薦区分（一般、特別）間では共通の出題となります。

※近隣には飲食店等がありませんので、昼食は持参してください。

※面接開始後、各自の試験が終わるまで、トイレ等の場合を除き、受験者控室からの退出はできません。

※面接試験終了時刻は、受験者数、面接の進行状況等によって変動するため未定です。公共交通機関や宿泊所の利用については、十分注意して予約等を行ってください。

## 9 選抜方法

国際総合学科・情報コミュニケーション学科とも、推薦区分ごとに、小論文、面接の結果及び調査書を総合して合格者を決定します。

※全学科とも、各評価項目の評価が一定水準に達しないと認められる場合は、総合得点が募集人員の範囲内であっても不合格とする場合があります。

## 10 合格者発表

### (1) 日時

令和5年12月1日(金) 14時(予定)

### (2) 方法

- ① 本学内掲示板（音楽棟前）に合格者の受験番号を掲示します。
- ② 本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。
- ③ 合格者には、合格通知書及び入学手続要項等を郵送します。  
なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

## 11 入学手続

合格通知を受けた者は、下記の要領により入学手続を行ってください。

### (1) 入学手続期間

令和5年12月4日(月)から12月28日(木)まで

- ① 直接持参し提出する場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く9時から16時までです。
- ② 郵送の場合は、必ず「簡易書留」または「レターパック」のいずれか一方とし、令和5年12月28日(木)までの消印のあるものに限り受け付けます。また、封筒に「入学手続書類在中」と朱書きし、入学予定学科名・受験番号・氏名を明記してください。

(2) 入学料、その他の納付金及び提出書類

○入学料、その他の納付金

上記入学手続き期間中に、入学料及びその他の納付金の納付が必要です。納付後、振込の明細書を提出用台紙に貼付してください。（入学料額は60ページ「学費その他」を参照してください。）

ア 令和5年12月4日(月)から12月28日(木)までに必ず提出する書類

- ① 誓約書（本学所定の用紙に必要事項を記入したもの）
  - ② 入学料振込の明細書を貼付した提出用台紙
  - ③ （入学料に県内生の金額を適用する場合）県内生であることを証する書類（住民票記載事項証明書、住民票写し等）
  - ④ その他の納付金振込の明細書を貼付した提出用台紙
  - ⑤ その他、合格通知の際に送付する「入学手続要項」に記載する必要な書類
- ※ ①～⑤については、所定の期間内に必ず手続（提出）を行ってください。期間内に入学手続を完了しなかった場合は、合格者としての権利を失います。

イ 令和6年3月25日(月)までに追加提出する書類

- ⑥ 高等学校等の卒業証明書または修了証明書
  - ⑦ その他、令和6年3月1日(金)以降に送付する「入学案内」に記載する必要な書類
- ※郵送（提出）の際は、封筒に「入学手続書類（追加提出分） 在中」と朱書きし、入学予定学科名・受験番号・氏名を明記してください。上記期日までの追加提出が困難な場合は、教務学生部（(3)参照）にご連絡ください。

(3) 提出先

〒870-0833 大分市上野丘東1番11号

大分県立芸術文化短期大学 教務学生部 TEL 097-545-0542（代表）  
097-545-4225（直通）

## II 一般選抜

一般選抜は、国際総合学科及び情報コミュニケーション学科とも、A日程試験とB日程試験を実施します。

A日程試験は、国際総合学科・情報コミュニケーション学科とも本学独自試験による選抜と、令和6年度大学入学共通テストの成績を利用した選抜の2通りの方法により行います。

B日程試験は、国際総合学科では本学独自試験による選抜と令和6年度大学入学共通テストの成績を利用した選抜の2通りの方法により行います。また、情報コミュニケーション学科では令和6年度大学入学共通テストの成績を利用した選抜のみを行います。

### 1 募集人員

[A日程試験]

(本学独自試験)

学 科	募 集 人 員
国 際 総 合 学 科	30 人 程 度
情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	30 人 程 度

(大学入学共通テスト利用)

学 科	募 集 人 員
国 際 総 合 学 科	15 人 程 度
情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	15 人 程 度

[B日程試験]

(本学独自試験)

学 科	募 集 人 員
国 際 総 合 学 科	若 干 名 ※ A 日程での本学独自試験の30人程度に含まれる

(大学入学共通テスト利用)

学 科	募 集 人 員
国 際 総 合 学 科	5 人 程 度
情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	5 人 程 度

### 2 出願資格

国際総合学科・情報コミュニケーション学科の一般選抜（A日程・B日程）に出願することができる者は、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和5年度中に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年度中に修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年度中に卒業または卒業見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を

- 満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
  - (6) 文部科学大臣の指定した者
  - (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(従前の大学入試資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む)及び令和6年3月31日までに合格見込みの者で、令和6年3月31日までに満18歳に達する者
  - (8) 令和6年3月31日までに満18歳に達している者で、本学の個別の入学資格審査<sup>(注)</sup>により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- (注) 本学の個別の入学資格審査実施要項は、本学ホームページに掲載しています。

### 3 試験期日及び試験場

#### [A日程試験]

##### (本学独自試験)

学 科	試 験 期 日	試 験 場
国 際 総 合 学 科	令和6年2月8日(木)	本 学
情報コミュニケーション学科	令和6年2月8日(木)	本 学

※本学の下見は、次の日時のみ許可します。ただし、建物の中に立ち入ることはできません。  
令和6年2月7日(水)13時～17時

##### (大学入学共通テスト利用)

学 科	試 験 期 日	試 験 場
国 際 総 合 学 科	大学入学共通テスト実施期日	大学入学共通テスト会場
情報コミュニケーション学科	大学入学共通テスト実施期日	大学入学共通テスト会場

※本学の個別試験は課しません。(本学独自試験実施日に来学する必要はありません。)

#### [B日程試験]

##### (本学独自試験)

学 科	試 験 期 日	試 験 場
国 際 総 合 学 科	令和6年3月14日(木)	本 学

※本学の下見は、次の日時のみ許可します。ただし、建物の中に立ち入ることはできません。  
令和6年3月13日(水)13時～17時

##### (大学入学共通テスト利用)

学 科	試 験 期 日	試 験 場
国 際 総 合 学 科	大学入学共通テスト実施期日	大学入学共通テスト会場
情報コミュニケーション学科	大学入学共通テスト実施期日	大学入学共通テスト会場

※本学の個別試験は課しません。(本学独自試験実施日に来学する必要はありません。)

## 4 出願手続

### (1) 事前準備

出願手続は、インターネットに接続されたパソコン、タブレット端末等から行います。また、以下の準備が必要です。

#### ① 受信可能なメールアドレス

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。出願登録完了時・入学考査料支払い完了時には、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

(携帯メールアドレスの場合は@contact.grapecity.comおよび@oita-pjc.ac.jpからのメールを受信できるように設定してください)

#### ② PDFファイルを開くためのアプリケーション

Adobe社の「Adobe Acrobat Reader」を推奨します。

#### ③ A4サイズを出力できるカラープリンター

「一般選抜願書」「受験票」(カラー印刷すること)など、受験に必要な書類を印刷します。

#### ④ 出願に必要な書類及び顔写真データ

出願手続を始める前に、募集要項をよく読み、必要となる書類、顔写真の画像などを準備してください。

※必要書類の中には発行に時間のかかるものもありますので、早めにご用意ください。

### (2) 出願期間

#### [A日程試験]

令和6年1月9日(火)から1月26日(金)まで

※期間内に(3)のSTEP1～5までの手続が必要です。

#### [B日程試験]

令和6年2月26日(月)から3月8日(金)まで

※期間内に(3)のSTEP1～5までの手続が必要です。

### (3) 出願手順 ※詳細はWeb出願サイトのマニュアルを参照してください。

#### STEP1 事前登録

本学ホームページからWeb出願サイトにアクセスし、メールアドレスやパスワードの事前登録を行います。

※Web出願サイト公開後から、事前登録を行っていただけます。

#### STEP2 写真のアップロード

顔写真データは、デジタルカメラやスマートフォンで撮影したデータも可能です。

#### STEP3 出願情報の登録

画面の指示に従って出願に必要な情報を入力してください。

①選抜区分 ②試験名 ③志願者情報

#### STEP4 入学考査料の支払い(入学考査料は出願1件につき、18,000円です)

コンビニエンスストア・Pay-easy(ペイジー)・クレジットカードをご利用いただけます。

※全ての支払方法に対して、事務手数料がかかります。事務手数料はご本人負担となります。

#### STEP5 出願書類の提出(持参または郵送)

「一般選抜願書」や「調査書」など必要書類を本学へ持参または郵送します。

〈持参の場合〉

受付時間：9時から16時まで(土・日・祝日を除く)

受付期限：A日程 令和6年1月29日(月)16時まで

B日程 令和6年3月11日(月)16時まで

〈郵送の場合〉

受付期限：A日程 令和6年1月26日(金)までの消印があるもの

B日程 令和6年3月8日(金)までの消印があるもの

※郵送の際は必ず「簡易書留」または「レターパック」のいずれか一方としてください。

提出・送付先：〒870-0833 大分市上野丘東1番11号

大分県立芸術文化短期大学 教務学生部

TEL：097-545-0542（代表）、097-545-4225（直通）

◎提出する書類

出願書類等		摘 要
1	一般選抜書願	<ul style="list-style-type: none"><li>Web出願サイトに必要事項を入力し、入学考査料支払手続き完了後カラー印刷をしてください。(拡大・縮小せず、A4で印刷)</li><li>[大学入学共通テスト利用者]</li><li>「大学入学共通テスト成績請求票」のうち、「私立大学・短期大学用」を所定欄に必ず貼付してください。(過年度のものは使用できません)</li></ul>
2	調査書	<ul style="list-style-type: none"><li>出身学校長が文部科学省の定めた様式により作成し、厳封したものであること。なお、高等学校卒業程度認定試験の合格者等については、当該試験の成績証明をもって調査書に代えることができます。また、大学卒業者については大学の成績証明書をもって調査書に代えることができます。</li><li>また、出身学校の指導要録の保存期間が経過したものや、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、出身学校の卒業証明書等を調査書に代えることができます。</li><li>併願の場合は、各出願ごとに調査書が必要です。</li></ul>
3	宛名ラベル	<ul style="list-style-type: none"><li>Web出願サイトから印刷をして、書類を郵送する際に封筒やレターパックに貼り付けて使用してください。</li></ul>

※外国語で作成された証明書等については、必ず日本語訳を添付してください。

※改姓により調査書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を添付してください。

STEP 6 受験票の印刷

出願書類受領後、通知メールが届きます。もし、出願後1週間経っても通知メールが届かない場合は教務学生部（TEL：097-545-4225）にご連絡ください。

受験票は、Web出願サイトからカラー印刷し、試験当日に必ず持参してください。当日、受験票を忘れた者は、速やかに総合案内所で仮受験票の交付を受けてください。

受験票は、成績開示請求等の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

5 出願にあたっての留意事項

一般選抜試験においては、本学独自試験と大学入学共通テスト利用の両方に出願することができます。また、大学入学共通テストを利用する場合は、両学科とも志願することができます。試験科目は57ページのとおりです。（この場合、入学考査料や調査書はそれぞれ出願ごとに必要です。）



## 6 一般選抜願書作成上の留意事項

J I S 規格の第一水準・第二水準以外の文字やローマ数字、丸囲み文字は入力できません。氏名や住所に正しい漢字登録ができない場合は、代替の文字を入力し、印刷した「一般選抜願書」に該当箇所を赤字で正しい漢字に訂正してください。本学にて修正いたします。

## 7 試験内容等

### [A日程試験]

本学独自試験：両学科共通（令和6年2月8日(木)）

受験者は、9時までに人文棟に集合してください。

試験種別		試験時間	試験内容等	配点	配点合計
学力試験	外国語	9:30～10:30	英語（リスニングは行いません）	100点	200点
	国語	11:10～12:10	国語（古文・漢文を除きます）	100点	

※英語・国語（本学独自学力試験）の出題範囲について

「英語」：「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて、「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とします。リスニングは行いません。

「国語」：「国語総合」の内容を出題範囲とします。ただし、古典（古文・漢文）は除きます。

※近隣には飲食店等はありません。

### 大学入学共通テスト利用

学科名	科目	配点	配点合計
国際総合学科	大学入学共通テストのうち「英語」と「その他の全教科・全科目から1科目」の計2科目	100点+100点	200点
情報コミュニケーション学科	大学入学共通テストのうち「国語」と「その他の全教科・全科目から1科目」の計2科目	100点+100点	200点

※「その他の全教科・全科目」を2科目以上受験した場合は、最も得点の高い科目が合否判定に使用されます。「理科」について、「基礎」を付した科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎）の場合は、当該基礎科目2科目で1科目とみなします。「英語」はリスニングを含みます。「国語」は古文・漢文の分野を含みます。

※本学の個別試験は課しません。（本学独自試験実施日に来学する必要はありません。）

### [B日程試験]

本学独自試験：国際総合学科のみ（令和6年3月14日(木)）

受験者は、9時までに人文棟に集合してください。

試験種別	試験時間	試験内容等	配点	配点合計
志望理由書	9:30～10:00	所定の様式に志望理由を記入する。	20点	100点
小論文	10:20～11:20	課題について600字程度の小論文にまとめる。	40点	
面接	12:20～	20分程度の個人面接	40点	

※近隣には飲食店等がありませんので、昼食は持参してください。

※面接開始後、各自の試験が終わるまで、トイレ等の場合を除き、受験者控室からの退出はできません。

※面接試験終了時刻は、受験者数、面接の進行状況等によって変動するため未定です。公共交通機関や宿泊所の利用については、十分注意して予約等を行ってください。

## 大学入学共通テスト利用

学 科 名	科 目 名	配 点	配点合計
国 際 総 合 学 科	大学入学共通テストの全教科・全科目から2科目	100点+100点	200点
情報コミュニケーション学科	大学入学共通テストの全教科・全科目から2科目	100点+100点	200点

※大学入学共通テストの教科・科目を3科目以上受験した場合は、最も得点の高い2科目が合否判定に使用されます。「理科」について、「基礎」を付した科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎）の場合は、当該基礎科目2科目で1科目とみなします。「英語」はリスニングを含みます。「国語」は古文・漢文の分野を含みます。

※本学の個別試験は課しません。（本学独自試験実施日に来学する必要はありません。）

### ○ 大学入学共通テストの教科・科目

国語「国語」、地理歴史・公民「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」、数学「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」、理科「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」、外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」

## 8 選抜方法

- ① A日程試験については、国際総合学科・情報コミュニケーション学科とも、本学独自試験では学力試験の結果及び調査書を、大学入学共通テスト利用では大学入学共通テストの結果及び調査書を総合して合格者を決定します。
- ② B日程試験については、国際総合学科にあつては、本学独自試験では志望理由書、小論文、面接の結果及び調査書を、大学入学共通テスト利用では大学入学共通テストの結果及び調査書を総合して、また、情報コミュニケーション学科にあつては、大学入学共通テストの結果及び調査書を総合して合格者を決定します。

※全学科・全日程とも、各評価項目の評価が一定水準に達しないと認められる場合は、総合得点が募集人員の範囲内であっても不合格とする場合があります。

## 9 合格者発表

### (1) 日 時

[A日程試験]

令和6年2月20日(火) 14時(予定)

[B日程試験]

令和6年3月18日(月) 14時(予定)

### (2) 方 法

- ① 本学内掲示板（音楽棟前）に合格者の受験番号を掲示します。
- ② 本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。
- ③ 合格者には、合格通知書、入学手続要項及び入学案内等を郵送します。  
なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

## 10 入学手続

合格通知を受けた者は、下記の要領により入学手続を行ってください。

### (1) 入学手続期間

#### [A日程試験合格者]

令和6年2月21日(水)から3月1日(金)まで

- ① 直接持参し提出する場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く9時から16時までです。なお、持参の場合に限り、令和6年3月4日(月)16時まで受け付けます。
- ② 郵送の場合は、必ず「簡易書留」または「レターパック」のいずれか一方とし、令和6年3月1日(金)までの消印のあるものに限り受け付けます。また、封筒に「入学手続書類在中」と朱書きし、入学予定学科名・受験番号・氏名を明記してください。

#### [B日程試験合格者]

令和6年3月19日(火)から3月25日(月)まで

- ① 直接持参し提出する場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く9時から16時までです。なお、持参の場合に限り、令和6年3月26日(火)16時まで受け付けます。
- ② 郵送の場合は、必ず「簡易書留」または「レターパック」のいずれか一方とし、令和6年3月25日(月)までの消印のあるものに限り受け付けます。また、封筒に「入学手続書類在中」と朱書きし、入学予定学科名・受験番号・氏名を明記してください。

### (2) 入学料、その他の納付金及び提出書類

#### ○入学料、その他の納付金

上記入学手続期間中に、入学料及びその他の納付金の納付が必要です。納付後、振込の明細書を提出用台紙に貼付してください。(入学料額は60ページ「学費その他」を参照してください。)

#### ア (1)の入学手続期間内に必ず提出する書類

- ① 誓約書(本学所定の用紙に必要事項を記入したもの)
  - ② 入学料振込の明細書を貼付した提出用台紙
  - ③ (入学料に県内生の金額を適用する場合)県内生であることを証する書類(住民票記載事項証明書、住民票写し等)
  - ④ その他の納付金振込の明細書を貼付した提出用台紙
  - ⑤ その他、合格通知の際に送付する「入学手続要項」に記載する必要な書類
- ※ ①～⑤については、所定の期間内に必ず手続(提出)を行ってください。期間内に入学手続を完了しなかった場合は、入学を辞退したものと取り扱います。(いかなる例外も認められません。)

#### イ 入学手続完了後、別便にて追加提出する書類

- ⑥ 高等学校等の卒業証明書または修了証明書
  - ⑦ その他、合格通知の際に送付する「入学手続要項」に記載する必要な書類
- (⑥～⑦の提出期限)

#### [A日程試験合格者]

・令和6年3月25日(月)までに提出(①～⑤と同時提出も可)

※ 郵送(提出)の際は、封筒に「入学手続書類(追加提出分)在中」と朱書きし、入学予定学科名・受験番号・氏名を明記してください。上記期日までの提出が困難な

場合は、教務学生部 ((3)参照) にご連絡ください。

**[B日程試験合格者]**

- ・B日程合格者については、原則として、(1)の入学手続期間内に①～⑤の書類と同時に提出してください。同時提出が困難な場合は、教務学生部 ((3)参照) にご連絡ください。

**※ 入学手続完了者の入学辞退**

入学手続を完了した者が入学を辞退する場合は、「入学辞退届」を必ず提出してください。  
(入学辞退届の様式や提出方法等は別途お示しします。)

**(3) 提出先**

〒870-0833 大分市上野丘東1番11号

大分県立芸術文化短期大学 教務学生部 TEL 097-545-0542 (代表)

097-545-4225 (直通)

# 学費その他

## ◎ 学費その他の納付金（令和6年度見込）

（単位：円）

内訳	学科	美術科		音楽科	国際総合 学 科	情報コミュニ ケーション学科	備 考
		美術専攻	デザイン専攻				
入学料	県内生	169,200	169,200	169,200	169,200	169,200	
	県外生	282,000	282,000	282,000	282,000	282,000	
授業料		390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	年額（195,000 × 前・後期）
その他の 納付金	後援会費等	82,000	82,000	82,000	82,000	82,000	後援会費（70,000） 同窓会費（5,000） 学友会費（7,000）
	実習教材費等	48,000	48,000	36,000	5,000	28,000	
	研修旅費				12,000	20,000	
	その他の納付金計	130,000	130,000	118,000	99,000	130,000	※入学時の1回のみ納入
合計	県内生	689,200	689,200	677,200	658,200	689,200	
	県外生	802,000	802,000	790,000	771,000	802,000	
入学時 納付金	県内生	299,200	299,200	287,200	268,200	299,200	合計から授業料を差し引いた額
	県外生	412,000	412,000	400,000	381,000	412,000	

- （注）① 令和6年度所要見込額は、上記のとおりですが、若干変更になることがあります。  
 なお授業料は、入学後、銀行口座引き落としによる納入となります。  
 ・前期引き落とし日 令和6年5月27日(月)（予定）195,000円（予定）  
 ・後期引き落とし日 令和6年10月28日(月)（予定）195,000円（予定）
- ② 入学手続完了者が、令和6年3月25日(月)までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により入学料を除く納付金相当額は返還します。
- ③ 「県内生」とは、以下のいずれかに該当する者で、これ以外の者はすべて「県外生」扱いとなります。  
 ・令和5年4月1日以前から入学が許可される日まで連続して大分県内に住所を有している者（大分県内への居住開始日が確認できる「合格者本人の住民票の写し」を提出すること。）  
 ・合格者の保護者が、令和5年4月1日以前から入学が許可される日まで連続して大分県内に住所を有している者（大分県内への居住開始日が確認できる「保護者の住民票の写し」を提出すること。）
- ④ 2年次授業料の銀行口座引き落とし予定日  
 ・前期引き落とし日 令和7年4月28日(月)（予定）195,000円（予定）  
 ・後期引き落とし日 令和7年10月27日(月)（予定）195,000円（予定）
- ⑤ その他納付金は授業等を運営する上で必要なものです。納付時期や方法についての相談等は、合格通知に同封する入学手続きをご参照ください。

## ◎ 高等教育の修学支援新制度

本学は高等教育の修学支援新制度の対象校です。本学に在学する学生で要件を満たす者は該当する区分に応じて日本学生支援機構より給付される給付奨学金および授業料、入学料の減免を受けることができます。

第Ⅰ区分：

[給付奨学金] 自宅通学生	29,200円／月
自宅外通学生	66,700円／月
[入学料減免] 減免額	169,200円／月
[授業料減免] 減免額	195,000円／半年

第Ⅱ区分：

第Ⅰ区分の3分の2の額

第Ⅲ区分：

第Ⅰ区分の3分の1の額

## ◎ 貸与奨学金

独立行政法人 日本学生支援機構により貸与される制度があるほか、地方公共団体等の奨学金制度があります。

独立行政法人 日本学生支援機構による制度

・ 第一種奨学金（無利子）

貸与月額	自宅 20,000円、30,000円、45,000円から選択
	自宅外 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円から選択

・ 第二種奨学金（有利子）

貸与月額	20,000円～120,000円の間で1万円単位で選択
------	-----------------------------

## ◎ 授業料の減免等

主に生活保護家庭の学生など特に経済的に就学困難な学生を対象とした本学独自の授業料減免制度があります。なお、高等教育の修学支援新制度による授業料減免制度との併用はできません。

## ◎ 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有していたり、家事、育児、家族の介護を行っているなどの事情により、本来の修業年限である2年では卒業できない者に対し、3年あるいは4年の修業年限を定め、計画的に履修を行うことを認める制度です。

### 制度の概要

- (1) 履修期間 4年以内（長期履修の決定を受けた後、期間の短縮は認められることがありますが、延長はできません）
- (2) 対象者 職業を有する者または家事、育児、介護その他の相当の理由があると認められる者
- (3) 手続き 「長期履修願」を入学手続期間内に教務学生部に提出する。
- (4) 授業料 通常の修業年限（2年間）に支払うべき授業料総額を、長期履修を認められた修業年限で除した額をそれぞれの年に支払う。

## ◎ 各種教育ローン

### ■ 国の教育ローン

学資を融資する公的な制度として、(株)日本政策金融公庫の「国の教育ローン」があります。融資

金額は、学生1人につき350万円以内、返済期間は18年以内です。詳しくは、「国の教育ローン」をインターネットで検索するか、コールセンター（0570-008656、（03）5321-8656）までお問い合わせください。

#### ■ 提携教育ローン

本学では株式会社オリエントコーポレーション（以下、オリコ）と提携して、簡単な手続きで利用可能な提携教育ローン『学費サポートプラン』を導入しています。

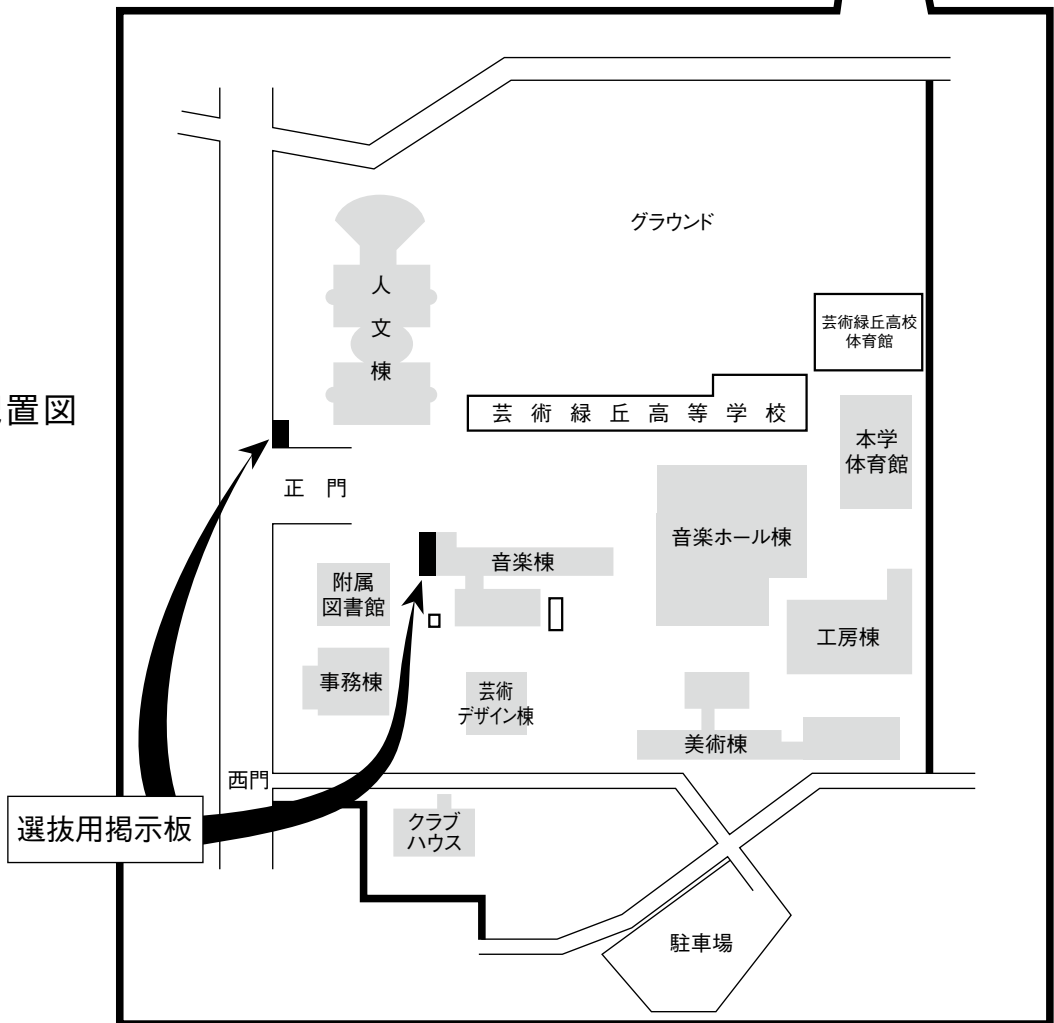
入学料や授業料等（学費その他の納付金）をオリコが学費納入者に代わって、本学に一括納入し、学費負担者はオリコに毎月分割にて返済する制度です。詳しくは、「大分県立芸術文化短期大学 学費サポートプラン」をインターネットで検索するか、オリコ学費サポートデスク（0120-517-325）までお問い合わせください。

# 大分県立 芸術文化短期大学 案内図

**〔アクセス〕**  
 ■徒歩  
 大分駅上野の森口(南口)から約20分  
 ■大分バス  
 大分駅府内中央口(北口)「大分駅前」3番のりば  
 または「中央通り」3番のりばから「上野」行きに  
 乗車(約6分)終点「上野」下車(徒歩約4分)



学内配置図







大分県立芸術文化短期大学

■入学試験に関する問い合わせ先

〒870-0833 大分市上野丘東1番11号

大分県立芸術文化短期大学 教務学生部

TEL 097-545-0542 (代表)

097-545-4225 (直通)

URL <https://www.oita-pjc.ac.jp/nyushi/>